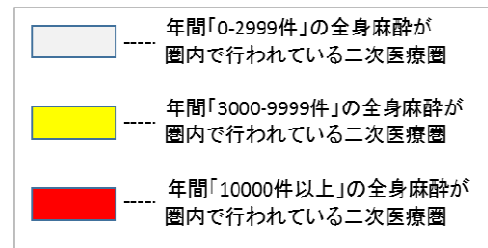


5. 秋田県



目次

秋田県	5	-	3
1. 大館・鹿角医療圏	5	-	9
2. 北秋田医療圏	5	-	15
3. 能代・山本医療圏	5	-	21
4. 秋田周辺医療圏	5	-	27
5. 由利本荘・にかほ医療圏	5	-	33
6. 大仙・仙北医療圏	5	-	39
7. 横手医療圏	5	-	45
8. 湯沢・雄勝医療圏	5	-	51

秋田県

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は190,548人(-16%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は288人(15%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は221人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

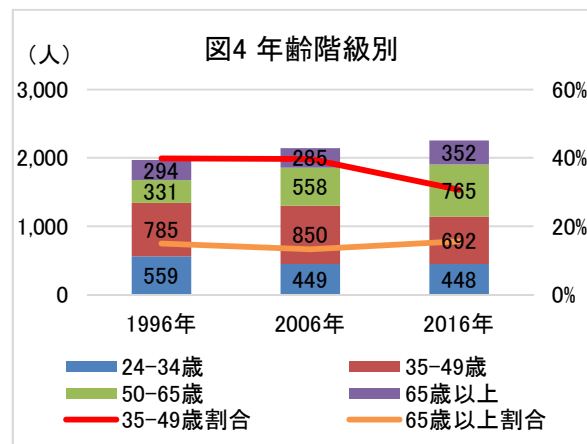
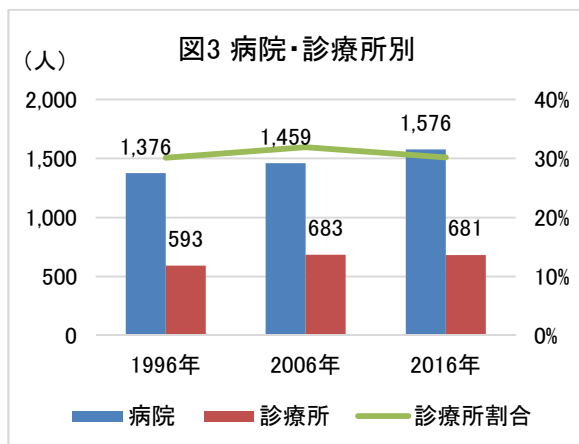
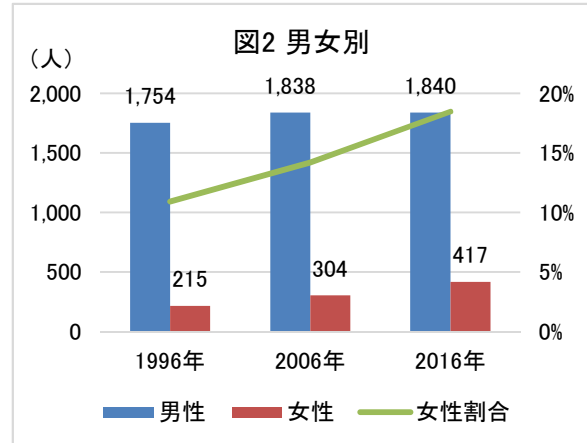
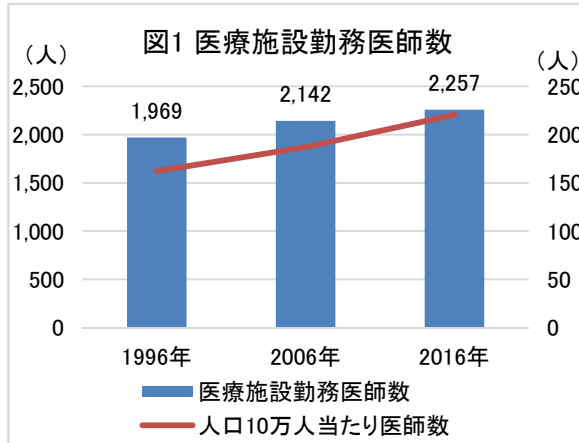
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて86人(5%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に202人(94%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて200人(15%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に88人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は30%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は93人(-12%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて58人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年15%、2016年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

秋田県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,213,667	1,145,501	1,023,119	-190,548	-16%	-68,166	-6%	-122,382	-11%	
総医師数	2,087	2,278	2,384	297	14%	191	9%	106	5%	
人口10万対	172.0	198.9	233.0	61.1	36%	26.9	16%	34.1	17%	
医療施設勤務医師数	1,969	2,142	2,257	288	15%	173	9%	115	5%	
人口10万対	162.2	187.0	220.6	58.4	36%	24.8	15%	33.6	18%	
男性医師数	1,754	1,838	1,840	86	5%	84	5%	2	0%	
人口10万対	144.5	160.5	179.8	35.3	24%	15.9	11%	19.4	12%	
女性医師数	215	304	417	202	94%	89	41%	113	37%	
人口10万対	17.7	26.5	40.8	23.0	130%	8.8	50%	14.2	54%	
病院勤務医師数	1,376	1,459	1,576	200	15%	83	6%	117	8%	
人口10万対	113.4	127.4	154.0	40.7	36%	14.0	12%	26.7	21%	
診療所勤務医師数	593	683	681	88	15%	90	15%	-2	0%	
人口10万対	48.9	59.6	66.6	17.7	36%	10.8	22%	6.9	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.8	47.6	49.8	4.0	9%	1.7	4%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	559	449	448	-111	-20%	-110	-20%	-1	0%
	35-49歳	785	850	692	-93	-12%	65	8%	-158	-19%
	50-64歳	331	558	765	434	131%	227	69%	207	37%
	65歳以上	294	285	352	58	20%	-9	-3%	67	24%
	75歳以上(再掲)	77	117	118	41	53%	40	52%	1	1%
男性	24-34歳	471	331	310	-161	-34%	-140	-30%	-21	-6%
	35-49歳	713	737	534	-179	-25%	24	3%	-203	-28%
	50-64歳	307	510	678	371	121%	203	66%	168	33%
	65歳以上	263	260	318	55	21%	-3	-1%	58	22%
	75歳以上(再掲)	68	102	102	34	50%	34	50%	0	0%
女性	24-34歳	88	118	138	50	57%	30	34%	20	17%
	35-49歳	72	113	158	86	119%	41	57%	45	40%
	50-64歳	24	48	87	63	263%	24	100%	39	81%
	65歳以上	31	25	34	3	10%	-6	-19%	9	36%
	75歳以上(再掲)	9	15	16	7	78%	6	67%	1	7%
病院	24-34歳	550	442	446	-104	-19%	-108	-20%	4	1%
	35-49歳	614	657	570	-44	-7%	43	7%	-87	-13%
	50-64歳	149	283	433	284	191%	134	90%	150	53%
	65歳以上	63	77	127	64	102%	14	22%	50	65%
	75歳以上(再掲)	17	22	31	14	82%	5	29%	9	41%
診療所	24-34歳	9	7	2	-7	-78%	-2	-22%	-5	-71%
	35-49歳	171	193	122	-49	-29%	22	13%	-71	-37%
	50-64歳	182	275	332	150	82%	93	51%	57	21%
	65歳以上	231	208	225	-6	-3%	-23	-10%	17	8%
	75歳以上(再掲)	60	95	87	27	45%	35	58%	-8	-8%
	85歳以上(再掲)	14	7	19	5	36%	-7	-50%	12	171%

秋田県

＜医師数の推移＞

秋田県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、泌尿器科であり、少ない診療科は、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、放射線科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、リハビリテーション科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,969	162.2	47	2,142	187.0	48	2,257	220.6	48	288	15%	58.4	36%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	775	63.9	47	816	71.2	47	828	80.9	47	53	7%	17.1	27%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	125	10.3	48	122	10.7	48	123	12.0	48	-2	-2%	1.7	17%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	111	9.1	53	131	11.4	54	142	13.9	53	31	28%	4.7	52%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	230	19.0	48	199	17.4	49	194	19.0	50	-36	-16%	0.0	0%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	8	0.7	53	7	0.6	52	6	0.6	49	-2	-25%	-0.1	-11%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	21	1.7	51	22	1.9	49	14	1.4	44	-7	-33%	-0.4	-21%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	59	4.9	51	59	5.2	51	67	6.5	53	8	14%	1.7	35%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	150	12.4	49	152	13.3	47	165	16.1	49	15	10%	3.8	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	0.3	44	9	0.8	45	8	0.8	42	4	100%	0.5	137%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	45	3.7	45	48	4.2	44	52	5.1	44	7	16%	1.4	37%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	79	6.5	45	80	7.0	43	89	8.7	46	10	13%	2.2	34%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	57	4.7	43	55	4.8	43	63	6.2	46	6	11%	1.5	31%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	61	5.0	54	74	6.5	57	77	7.5	58	16	26%	2.5	50%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	112	9.2	48	97	8.5	48	109	10.7	51	-3	-3%	1.4	15%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	13	1.1	55	21	1.8	53	23	2.2	52	10	77%	1.2	110%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	33	2.7	48	30	2.6	46	29	2.8	44	-4	-12%	0.1	4%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	42	3.5	48	50	4.4	49	55	5.4	46	13	31%	1.9	55%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	0.6	45	11	1.1	43	4	57%	0.5	76%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				118	10.3	49	148	14.5	51	148	25%	4.2	40%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	44	3.6	48	45	3.9	48	54	5.3	46	10	23%	1.7	46%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

秋田県

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は259,763人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は128人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は312人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は42%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

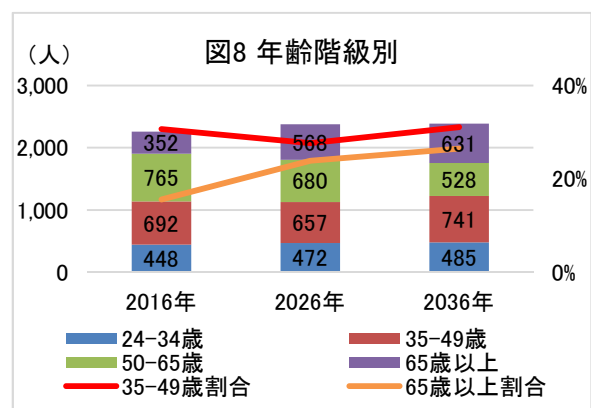
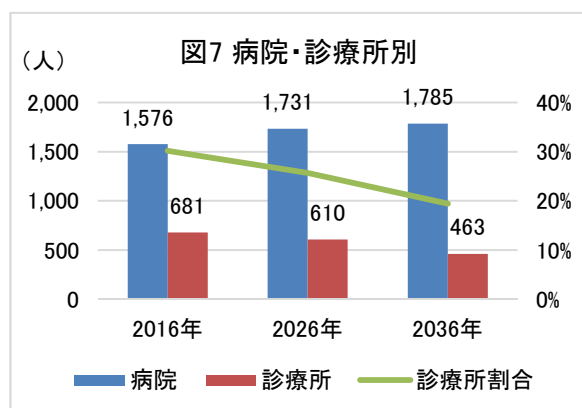
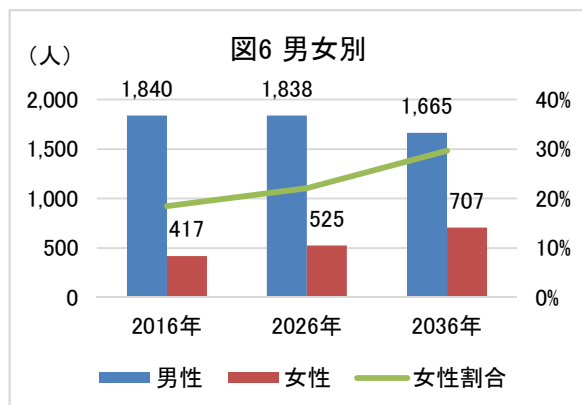
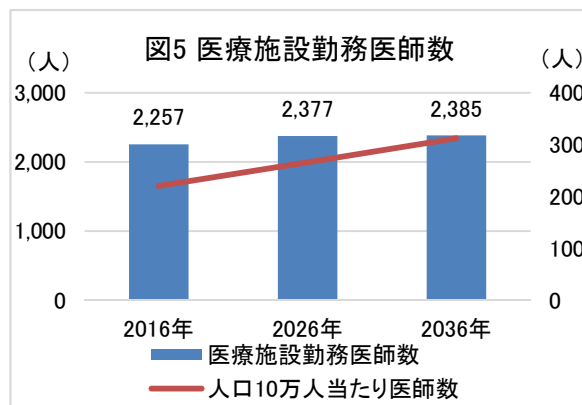
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて175人(-10%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に290人(70%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて209人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に218人(-32%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は49人(7%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて279人(79%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



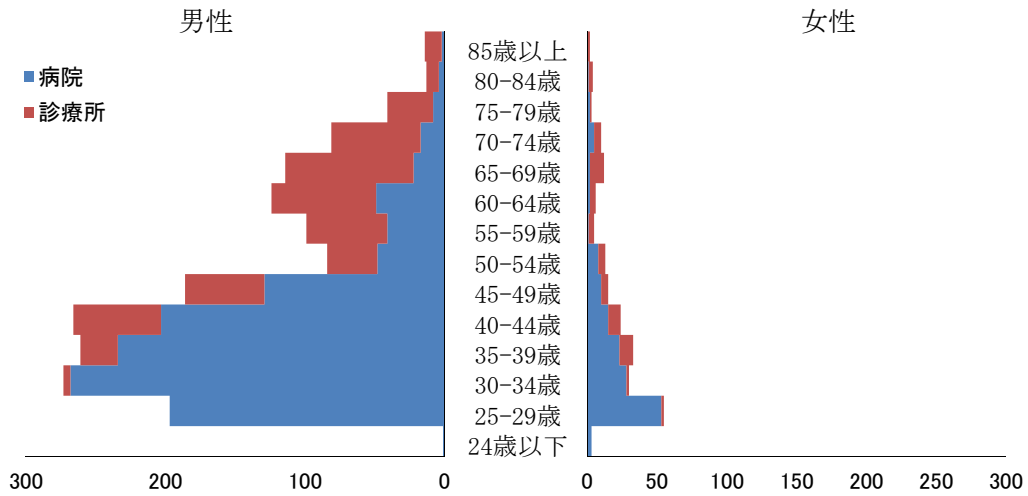
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

秋田県

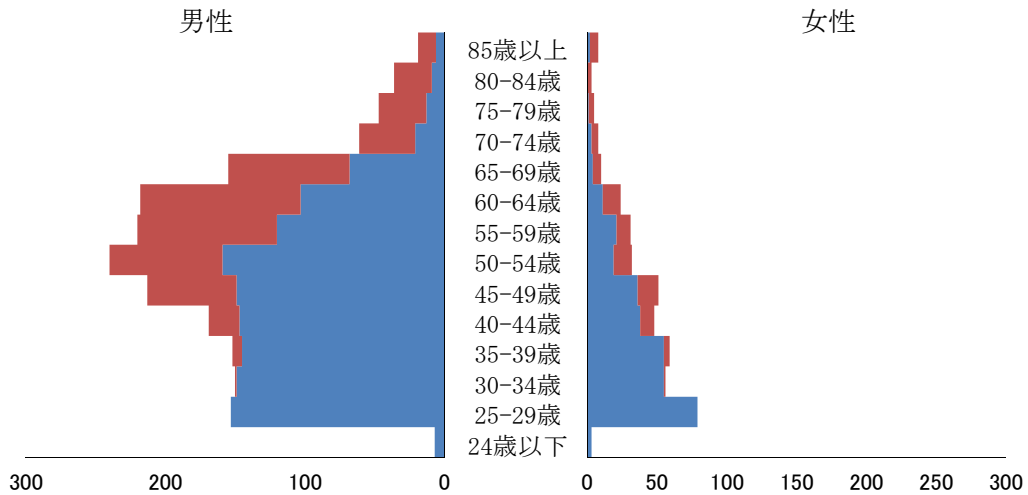
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

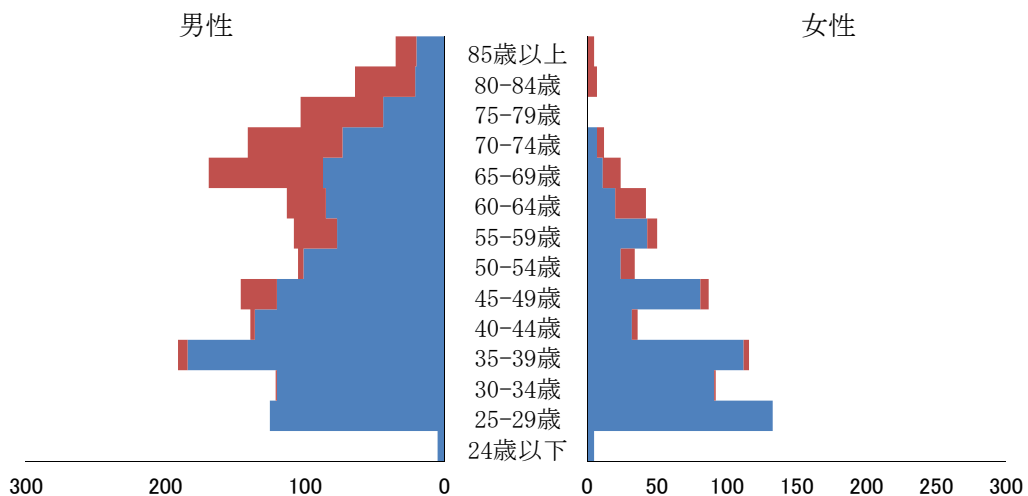
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去（2006年から2016年まで）のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。（ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した）

秋田県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,023,119	893,224	763,356	-259,763	-25%	-129,895	-13%	-129,868	-15%	
医療施設勤務医師数	2,257	2,377	2,385	128	6%	120	5%	8	0%	
人口10万対	220.6	266.1	312.4	91.8	42%	45.5	21%	46.3	17%	
男性医師数	1,840	1,838	1,665	-175	-10%	-2	0%	-173	-9%	
人口10万対	179.8	205.8	218.1	38.3	21%	25.9	14%	12.3	6%	
女性医師数	417	525	707	290	70%	108	26%	182	35%	
人口10万対	40.8	58.8	92.6	51.9	127%	18.0	44%	33.8	58%	
病院勤務医師数	1,576	1,731	1,785	209	13%	155	10%	54	3%	
人口10万対	154.0	193.8	233.8	79.8	52%	39.8	26%	40.0	21%	
診療所勤務医師数	681	610	463	-218	-32%	-71	-10%	-147	-24%	
人口10万対	66.6	68.3	60.7	-5.9	-9%	1.7	3%	-7.6	-11%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	448	472	485	37	8%	24	5%	13	3%
	35-49歳	692	657	741	49	7%	-35	-5%	84	13%
	50-64歳	765	680	528	-237	-31%	-85	-11%	-152	-22%
	65歳以上	352	568	631	279	79%	216	61%	63	11%
	75歳以上(再掲)	118	160	251	133	113%	42	36%	91	57%
男性	24-34歳	310	325	251	-59	-19%	15	5%	-74	-23%
	35-49歳	534	461	502	-32	-6%	-73	-14%	41	9%
	50-64歳	678	554	390	-288	-42%	-124	-18%	-164	-30%
	65歳以上	318	498	522	204	64%	180	57%	24	5%
	75歳以上(再掲)	102	136	205	103	101%	34	33%	69	51%
女性	24-34歳	138	147	229	91	66%	9	7%	82	56%
	35-49歳	158	204	259	101	64%	46	29%	55	27%
	50-64歳	87	130	163	76	87%	43	49%	33	25%
	65歳以上	34	44	56	22	65%	10	29%	12	27%
	75歳以上(再掲)	16	15	18	2	13%	-1	-6%	3	20%
病院	24-34歳	446	470	483	37	8%	24	5%	13	3%
	35-49歳	570	574	643	73	13%	4	1%	69	12%
	50-64歳	433	427	357	-76	-18%	-6	-1%	-70	-16%
	65歳以上	127	260	302	175	138%	133	105%	42	16%
	75歳以上(再掲)	31	60	106	75	242%	29	94%	46	77%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	122	53	54	-68	-56%	-69	-57%	1	2%
	50-64歳	332	233	95	-237	-71%	-99	-30%	-138	-59%
	65歳以上	225	322	312	87	39%	97	43%	-10	-3%
	75歳以上(再掲)	87	101	139	52	60%	14	16%	38	38%
	85歳以上(再掲)	19	21	22	3	16%	2	11%	1	5%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大館・鹿角医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は25,566人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は15人(-8%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は154人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は13%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

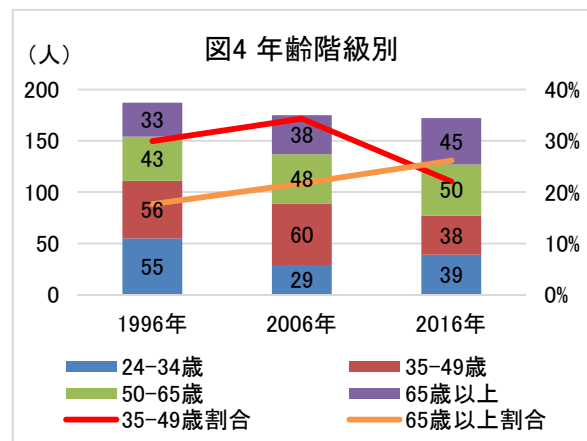
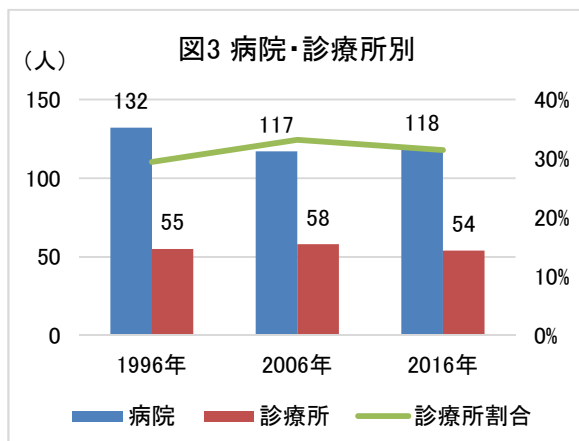
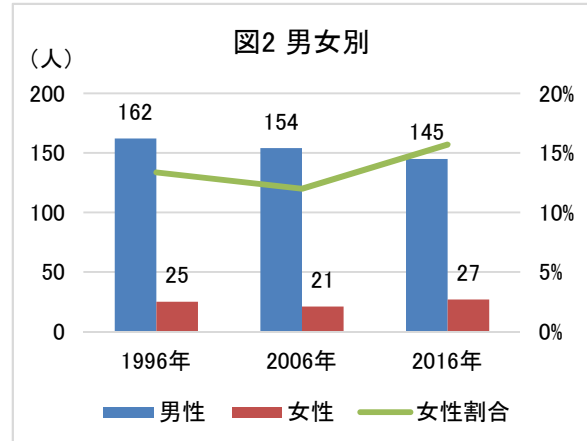
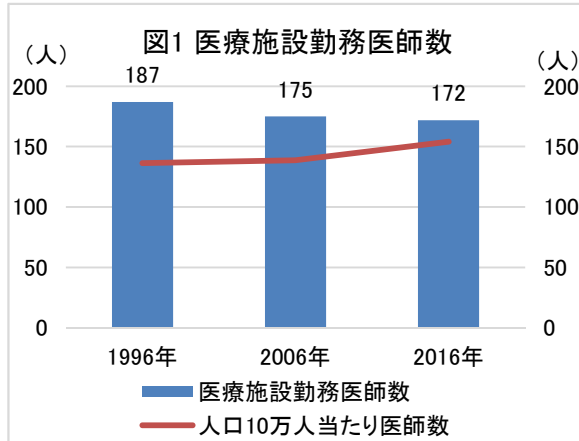
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて17人(-10%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(8%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は16%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて14人(-11%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(-2%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は18人(-32%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて12人(36%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

大館・鹿角医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	137,118	126,081	111,552	-25,566	-19%	-11,037	-8%	-14,529	-12%	
総医師数	191	189	186	-5	-3%	-2	-1%	-3	-2%	
人口10万対	139.3	149.9	166.7	27.4	20%	10.6	8%	16.8	11%	
医療施設勤務医師数	187	175	172	-15	-8%	-12	-6%	-3	-2%	
人口10万対	136.4	138.8	154.2	17.8	13%	2.4	2%	15.4	11%	
男性医師数	162	154	145	-17	-10%	-8	-5%	-9	-6%	
人口10万対	118.1	122.1	130.0	11.8	10%	4.0	3%	7.8	6%	
女性医師数	25	21	27	2	8%	-4	-16%	6	29%	
人口10万対	18.2	16.7	24.2	6.0	33%	-1.6	-9%	7.5	45%	
病院勤務医師数	132	117	118	-14	-11%	-15	-11%	1	1%	
人口10万対	96.3	92.8	105.8	9.5	10%	-3.5	-4%	13.0	14%	
診療所勤務医師数	55	58	54	-1	-2%	3	5%	-4	-7%	
人口10万対	40.1	46.0	48.4	8.3	21%	5.9	15%	2.4	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.7	50.7	52.2	4.5	9%	3.0	6%	1.5	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	55	29	39	-16	-29%	-26	-47%	10	34%
	35-49歳	56	60	38	-18	-32%	4	7%	-22	-37%
	50-64歳	43	48	50	7	16%	5	12%	2	4%
	65歳以上	33	38	45	12	36%	5	15%	7	18%
	75歳以上(再掲)	8	8	20	12	150%	0	0%	12	150%
男性	24-34歳	45	24	29	-16	-36%	-21	-47%	5	21%
	35-49歳	49	55	32	-17	-35%	6	12%	-23	-42%
	50-64歳	40	42	45	5	13%	2	5%	3	7%
	65歳以上	28	33	39	11	39%	5	18%	6	18%
	75歳以上(再掲)	4	6	16	12	300%	2	50%	10	167%
女性	24-34歳	10	5	10	0	0%	-5	-50%	5	100%
	35-49歳	7	5	6	-1	-14%	-2	-29%	1	20%
	50-64歳	3	6	5	2	67%	3	100%	-1	-17%
	65歳以上	5	5	6	1	20%	0	0%	1	20%
	75歳以上(再掲)	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%
病院	24-34歳	55	29	39	-16	-29%	-26	-47%	10	34%
	35-49歳	46	43	34	-12	-26%	-3	-7%	-9	-21%
	50-64歳	19	28	27	8	42%	9	47%	-1	-4%
	65歳以上	12	17	18	6	50%	5	42%	1	6%
	75歳以上(再掲)	3	4	5	2	67%	1	33%	1	25%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	10	17	4	-6	-60%	7	70%	-13	-76%
	50-64歳	24	20	23	-1	-4%	-4	-17%	3	15%
	65歳以上	21	21	27	6	29%	0	0%	6	29%
	75歳以上(再掲)	5	4	15	10	200%	-1	-20%	11	275%
	85歳以上(再掲)	3	0	2	-1	-33%	-3	-100%	2	

大館・鹿角医療圏

＜医師数の推移＞

大館・鹿角医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、脳神経外科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、整形外科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	187	136.4	44	175	138.8	42	172	154.2	40	-15	-8%	17.8	13%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	67	48.9	42	77	61.1	44	62	55.6	39	-5	-7%	6.7	14%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	11	8.0	43	10	7.9	42	10	9.0	42	-1	-9%	0.9	12%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	3.6	39	8	6.3	42	9	8.1	42	4	80%	4.4	121%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	14.6	43	16	12.7	42	15	13.4	43	-5	-25%	-1.1	-8%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	4.4	50	6	4.8	49	8	7.2	55	2	33%	2.8	64%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	20	14.6	53	13	10.3	41	14	12.6	42	-6	-30%	-2.0	-14%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	0.8	45	1	0.9	43	1	0%	0.9	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	2.2	41	3	2.4	38	3	2.7	38	0	0%	0.5	23%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	8	5.8	44	9	7.1	44	6	5.4	38	-2	-25%	-0.5	-8%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	7	5.1	45	7	5.6	46	7	6.3	47	0	0%	1.2	23%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	7.3	64	7	5.6	53	5	4.5	46	-5	-50%	-2.8	-39%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	6.6	42	8	6.3	43	8	7.2	43	-1	-11%	0.6	9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	3	2.2	70	4	3.2	64	5	4.5	66	2	67%	2.3	105%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	1	0.9	38	1	0%	0.9	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.5	42	3	2.4	43	3	2.7	40	1	50%	1.2	84%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.9	42	1	0%	0.9	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	0.8	38	11	9.9	46	11	1000%	9.1	1143%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	16	11.7	66	2	1.6	43	3	2.7	42	-13	-81%	-9.0	-77%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

大館・鹿角医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は29,474人(-26%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は4人(-2%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は205人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

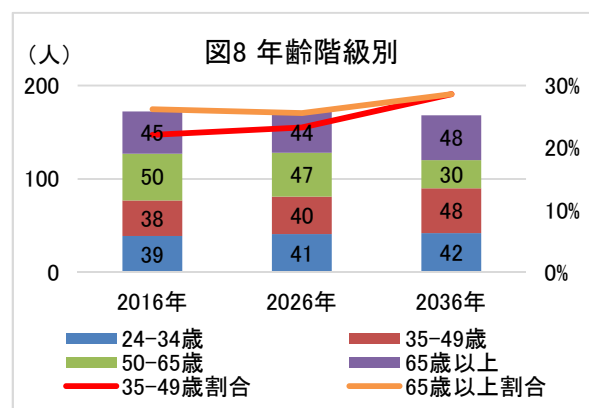
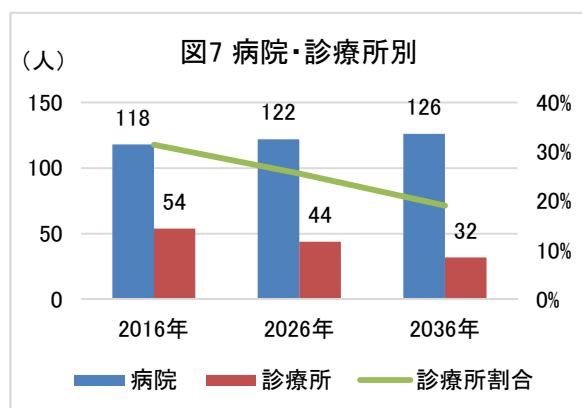
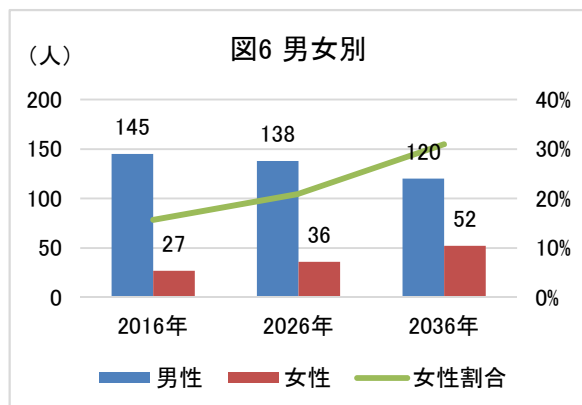
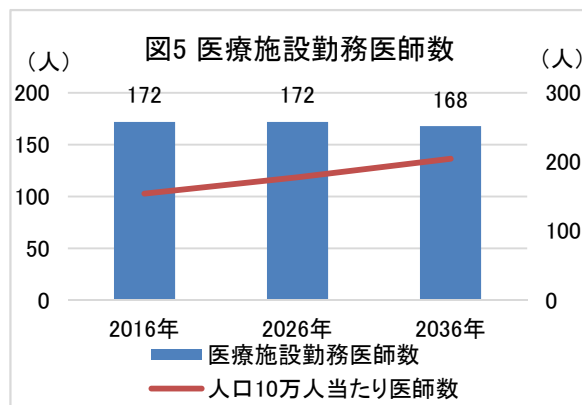
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて25人(-17%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に25人(93%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は31%と、全国平均(31%)と同程度である。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて8人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に22人(-41%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は19%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は10人(26%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて3人(7%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年29%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



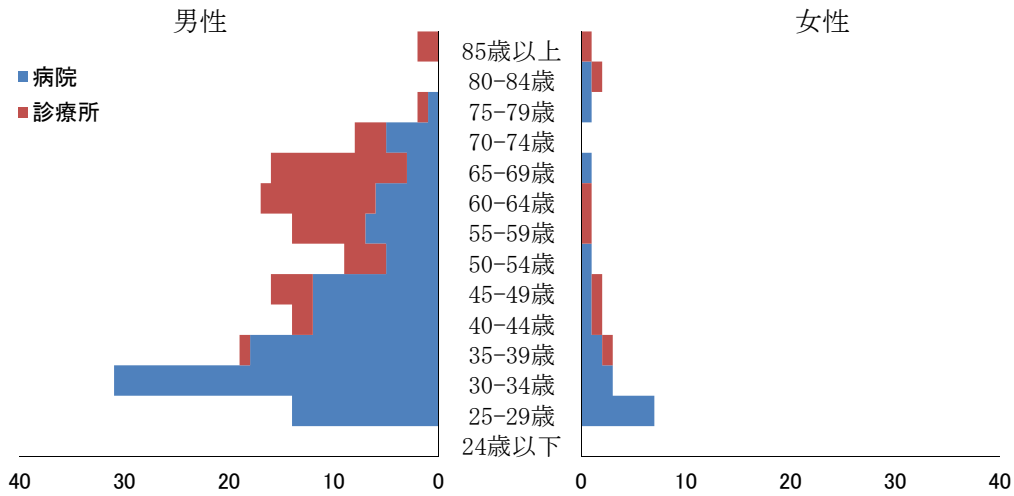
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大館・鹿角医療圏

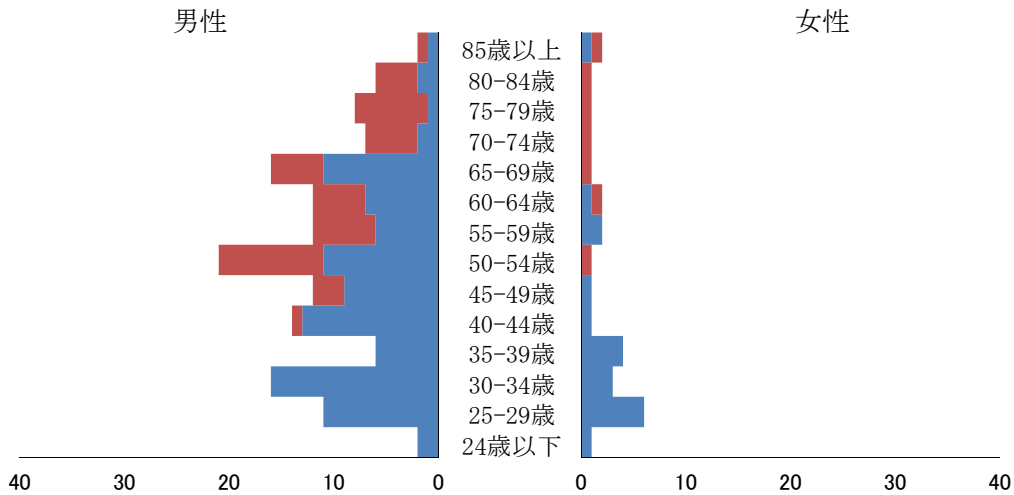
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

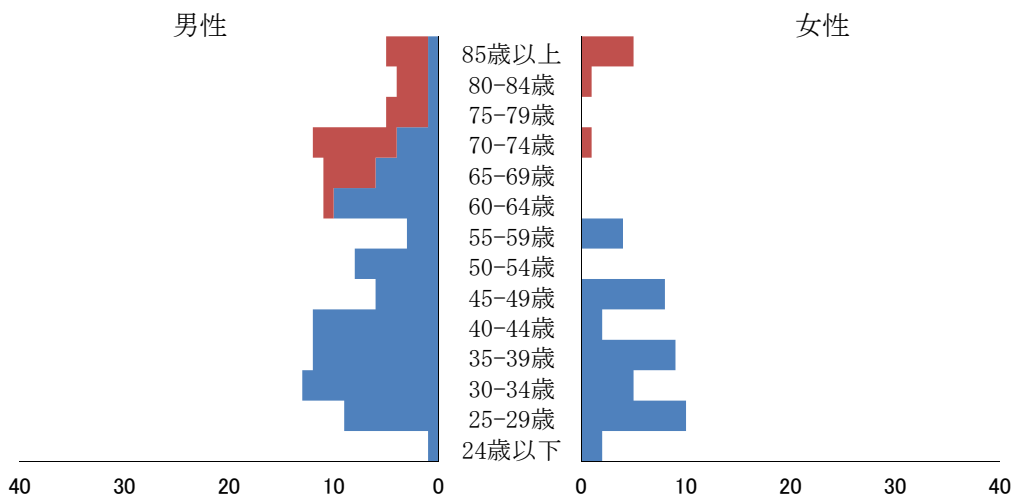
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大館・鹿角医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	111,552	96,716	82,078	-29,474	-26%	-14,836	-13%	-14,638	-15%	
医療施設勤務医師数	172	172	168	-4	-2%	0	0%	-4	-2%	
人口10万対	154.2	177.8	204.7	50.5	33%	23.7	15%	26.8	15%	
男性医師数	145	138	120	-25	-17%	-7	-5%	-18	-13%	
人口10万対	130.0	142.7	146.2	16.2	12%	12.7	10%	3.5	2%	
女性医師数	27	36	52	25	93%	9	33%	16	44%	
人口10万対	24.2	37.2	63.4	39.2	162%	13.0	54%	26.1	70%	
病院勤務医師数	118	122	126	8	7%	4	3%	4	3%	
人口10万対	105.8	126.1	153.5	47.7	45%	20.4	19%	27.4	22%	
診療所勤務医師数	54	44	32	-22	-41%	-10	-19%	-12	-27%	
人口10万対	48.4	45.5	39.0	-9.4	-19%	-2.9	-6%	-6.5	-14%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	39	41	42	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	38	40	48	10	26%	2	5%	8	20%
	50-64歳	50	47	30	-20	-40%	-3	-6%	-17	-36%
	65歳以上	45	44	48	3	7%	-1	-2%	4	9%
	75歳以上(再掲)	20	23	23	3	15%	3	15%	0	0%
男性	24-34歳	29	30	23	-6	-21%	1	3%	-7	-23%
	35-49歳	32	27	32	0	0%	-5	-16%	5	19%
	50-64歳	45	44	25	-20	-44%	-1	-2%	-19	-43%
	65歳以上	39	37	40	1	3%	-2	-5%	3	8%
	75歳以上(再掲)	16	18	16	0	0%	2	13%	-2	-11%
女性	24-34歳	10	11	17	7	70%	1	10%	6	55%
	35-49歳	6	14	19	13	217%	8	133%	5	36%
	50-64歳	5	3	6	1	20%	-2	-40%	3	100%
	65歳以上	6	8	10	4	67%	2	33%	2	25%
	75歳以上(再掲)	4	6	8	4	100%	2	50%	2	33%
病院	24-34歳	39	41	42	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	34	38	46	12	35%	4	12%	8	21%
	50-64歳	27	29	24	-3	-11%	2	7%	-5	-17%
	65歳以上	18	14	14	-4	-22%	-4	-22%	0	0%
	75歳以上(再掲)	5	5	4	-1	-20%	0	0%	-1	-20%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	50-64歳	23	16	1	-22	-96%	-7	-30%	-15	-94%
	65歳以上	27	28	31	4	15%	1	4%	3	11%
	75歳以上(再掲)	15	17	17	2	13%	2	13%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	8	8	6	300%	6	300%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北秋田医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,742人(-26%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は19人(-34%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は104人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-10%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

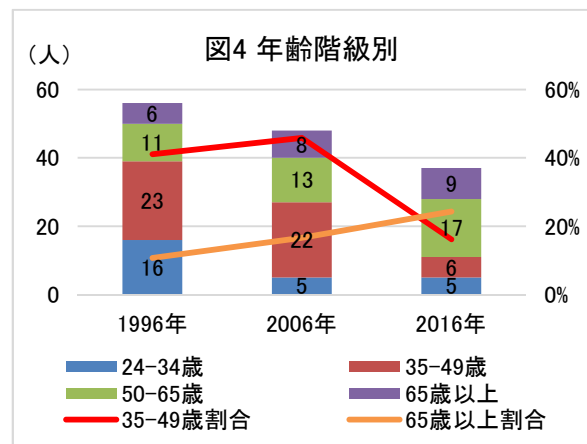
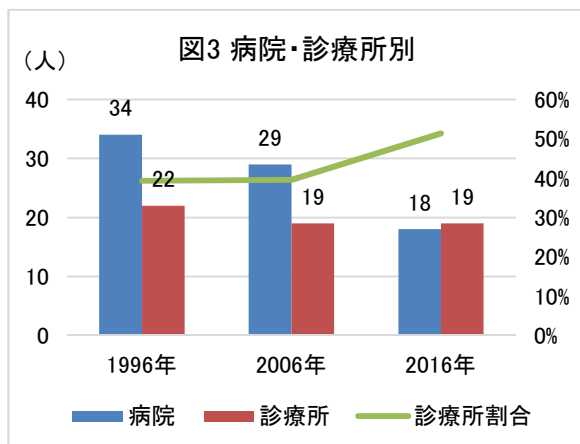
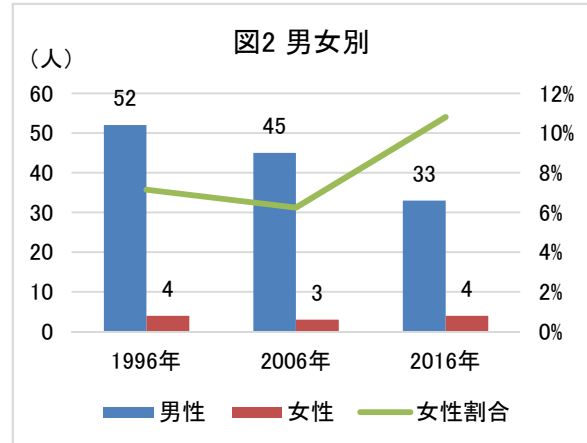
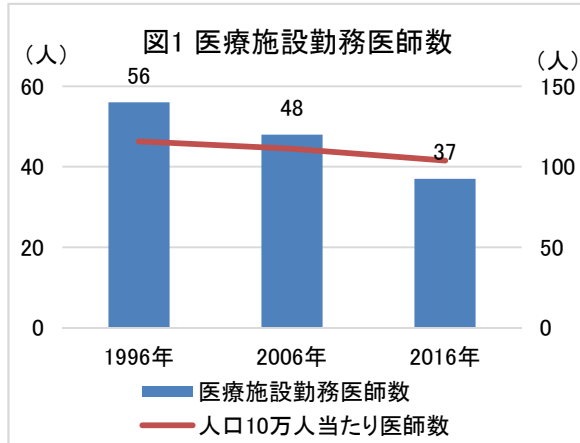
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて19人(-37%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて16人(-47%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-14%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は51%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は17人(-74%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(50%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年11%、2016年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

北秋田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	48,347	43,156	35,605	-12,742	-26%	-5,191	-11%	-7,551	-17%	
総医師数	59	52	41	-18	-31%	-7	-12%	-11	-21%	
人口10万対	122.0	120.5	115.2	-6.9	-6%	-1.5	-1%	-5.3	-4%	
医療施設勤務医師数	56	48	37	-19	-34%	-8	-14%	-11	-23%	
人口10万対	115.8	111.2	103.9	-11.9	-10%	-4.6	-4%	-7.3	-7%	
男性医師数	52	45	33	-19	-37%	-7	-13%	-12	-27%	
人口10万対	107.6	104.3	92.7	-14.9	-14%	-3.3	-3%	-11.6	-11%	
女性医師数	4	3	4	0	0%	-1	-25%	1	33%	
人口10万対	8.3	7.0	11.2	3.0	36%	-1.3	-16%	4.3	62%	
病院勤務医師数	34	29	18	-16	-47%	-5	-15%	-11	-38%	
人口10万対	70.3	67.2	50.6	-19.8	-28%	-3.1	-4%	-16.6	-25%	
診療所勤務医師数	22	19	19	-3	-14%	-3	-14%	0	0%	
人口10万対	45.5	44.0	53.4	7.9	17%	-1.5	-3%	9.3	21%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.3	50.5	55.3	10.0	22%	5.2	11%	4.9	10%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	16	5	5	-11	-69%	-11	-69%	0	0%
	35-49歳	23	22	6	-17	-74%	-1	-4%	-16	-73%
	50-64歳	11	13	17	6	55%	2	18%	4	31%
	65歳以上	6	8	9	3	50%	2	33%	1	13%
	75歳以上(再掲)	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
男性	24-34歳	14	4	4	-10	-71%	-10	-71%	0	0%
	35-49歳	21	22	5	-16	-76%	1	5%	-17	-77%
	50-64歳	11	11	16	5	45%	0	0%	5	45%
	65歳以上	6	8	8	2	33%	2	33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
女性	24-34歳	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%
	35-49歳	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	
	50-64歳	0	2	1	1		2		-1	-50%
	65歳以上	0	0	1	1		0		1	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	16	5	5	-11	-69%	-11	-69%	0	0%
	35-49歳	12	17	4	-8	-67%	5	42%	-13	-76%
	50-64歳	6	4	8	2	33%	-2	-33%	4	100%
	65歳以上	0	3	1	1		3		-2	-67%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	11	5	2	-9	-82%	-6	-55%	-3	-60%
	50-64歳	5	9	9	4	80%	4	80%	0	0%
	65歳以上	6	5	8	2	33%	-1	-17%	3	60%
	75歳以上(再掲)	2	1	3	1	50%	-1	-50%	2	200%
	85歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	

北秋田医療圏

＜医師数の推移＞

北秋田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、脳神経外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科はない。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	56	115.8	42	48	111.2	38	37	103.9	35	-19	-34%	-11.9	-10%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	22	45.5	41	22	51.0	40	16	44.9	36	-6	-27%	-0.6	-1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	4	8.3	44	3	7.0	40	2	5.6	36	-2	-50%	-2.7	-32%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	2	4.1	40	2	4.6	39	2	5.6	38	0	0%	1.5	36%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	16	33.1	63	8	18.5	51	6	16.9	47	-10	-63%	-16.2	-49%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	2.1	53	1	2.3	52	1	2.8	52	0	0%	0.7	36%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	2.1	40	1	2.3	39	0	0.0	28	-1	-100%	-2.1	-100%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	4	8.3	40	3	7.0	34	4	11.2	40	0	0%	3.0	36%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	2.3	38	0	0.0	30	0	0%	0.0	0%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	1	2.1	36	1	2.3	32	1	2.8	32	0	0%	0.7	36%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	2.1	36	2	4.6	43	1	2.8	36	0	0%	0.7	36%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	0	0.0	32	1	2.3	39	2	5.6	50	2	0%	5.6	0%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	8.3	46	2	4.6	38	2	5.6	40	-2	-50%	-2.7	-32%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	2.3	42	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

北秋田医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は13,085人(-37%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は8人(-22%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は129人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

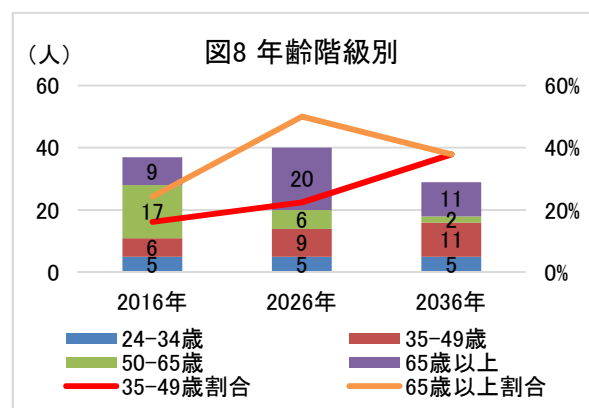
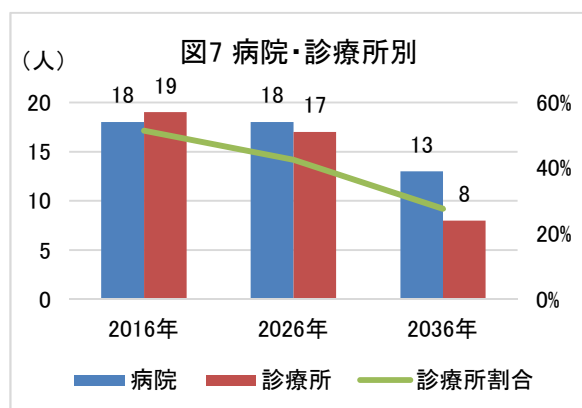
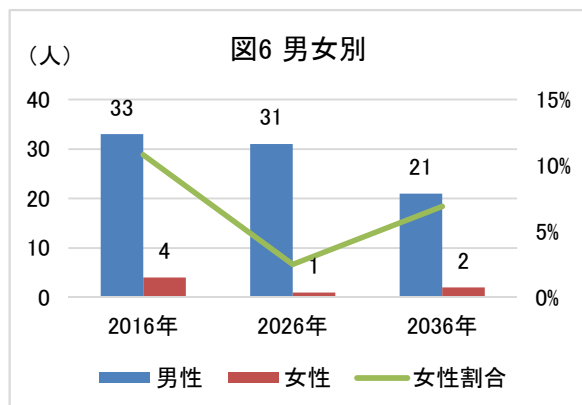
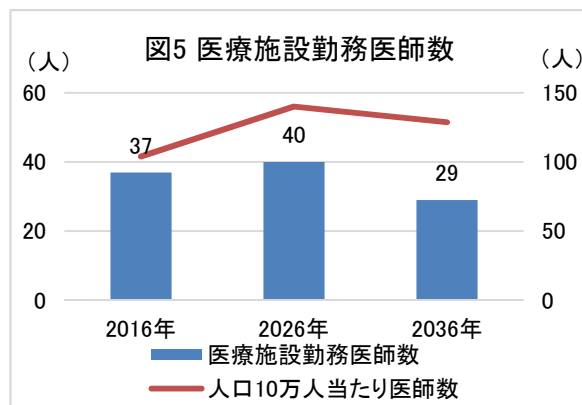
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて12人(-36%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-50%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は7%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて5人(-28%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(-58%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は28%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は5人(83%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて2人(22%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年24%、2036年38%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



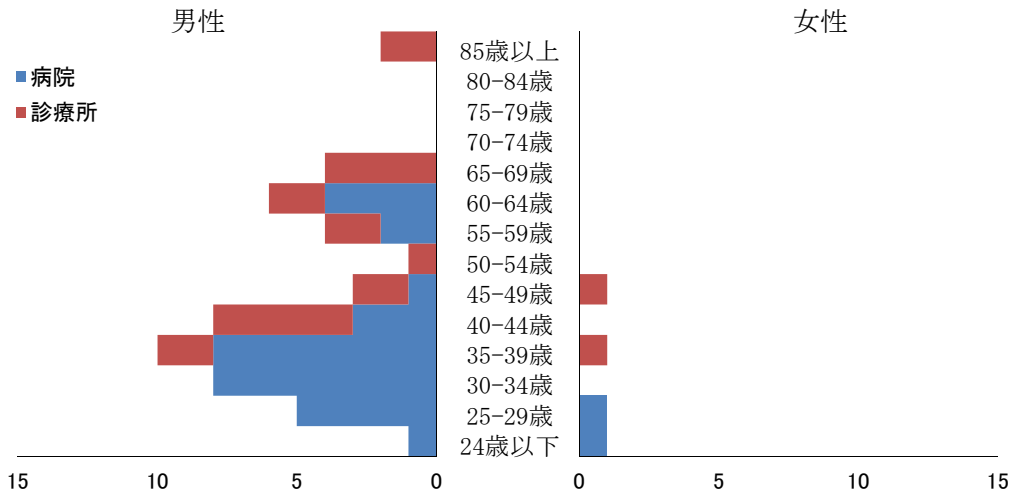
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北秋田医療圏

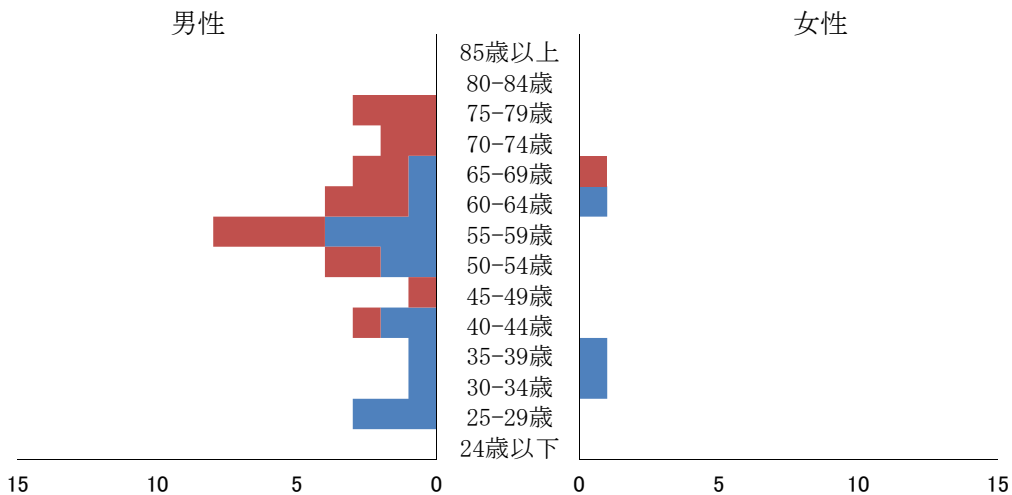
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

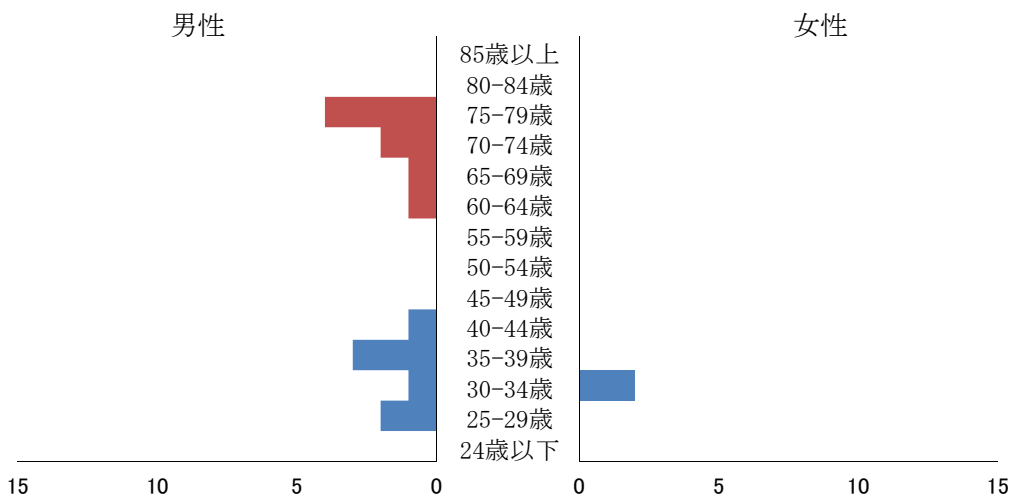
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

北秋田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	35,605	28,555	22,520	-13,085	-37%	-7,050	-20%	-6,035	-21%	
医療施設勤務医師数	37	40	29	-8	-22%	3	8%	-11	-28%	
人口10万対	103.9	140.1	128.8	24.9	24%	36.2	35%	-11.3	-8%	
男性医師数	33	31	21	-12	-36%	-2	-6%	-10	-32%	
人口10万対	92.7	108.6	93.3	0.6	1%	15.9	17%	-15.3	-14%	
女性医師数	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%	
人口10万対	11.2	3.5	8.9	-2.4	-21%	-7.7	-69%	5.4	154%	
病院勤務医師数	18	18	13	-5	-28%	0	0%	-5	-28%	
人口10万対	50.6	63.0	57.7	7.2	14%	12.5	25%	-5.3	-8%	
診療所勤務医師数	19	17	8	-11	-58%	-2	-11%	-9	-53%	
人口10万対	53.4	59.5	35.5	-17.8	-33%	6.2	12%	-24.0	-40%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	6	9	11	5	83%	3	50%	2	22%
	50-64歳	17	6	2	-15	-88%	-11	-65%	-4	-67%
	65歳以上	9	20	11	2	22%	11	122%	-9	-45%
	75歳以上(再掲)	3	2	5	2	67%	-1	-33%	3	150%
男性	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	5	4	5	0	0%	-1	-20%	1	25%
	50-64歳	16	5	2	-14	-88%	-11	-69%	-3	-60%
	65歳以上	8	18	11	3	38%	10	125%	-7	-39%
	75歳以上(再掲)	3	2	5	2	67%	-1	-33%	3	150%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	50-64歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	4	7	8	4	100%	3	75%	1	14%
	50-64歳	8	2	0	-8	-100%	-6	-75%	-2	-100%
	65歳以上	1	4	0	-1	-100%	3	300%	-4	-100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	50-64歳	9	4	1	-8	-89%	-5	-56%	-3	-75%
	65歳以上	8	13	7	-1	-13%	5	63%	-6	-46%
	75歳以上(再掲)	3	3	4	1	33%	0	0%	1	33%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

能代・山本医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は23,848人(-22%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1人(-1%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は187人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は28%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

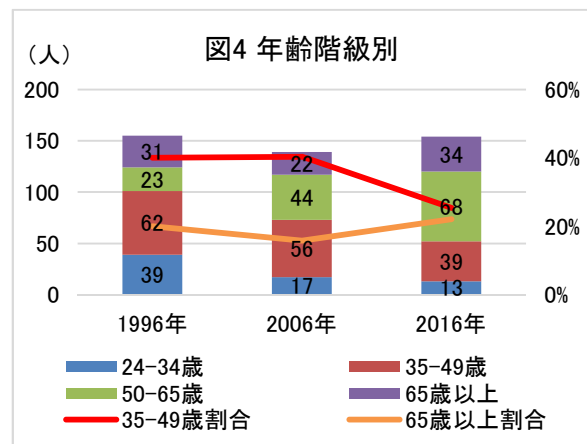
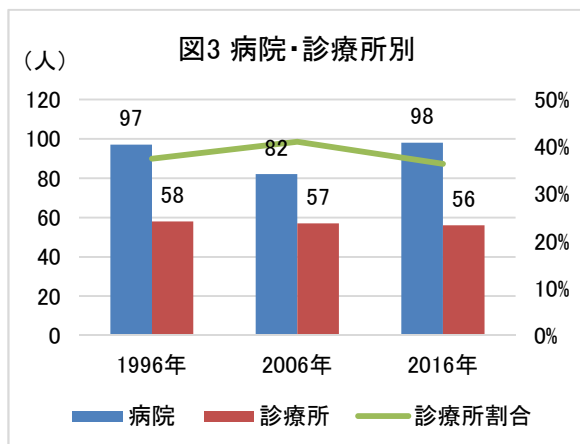
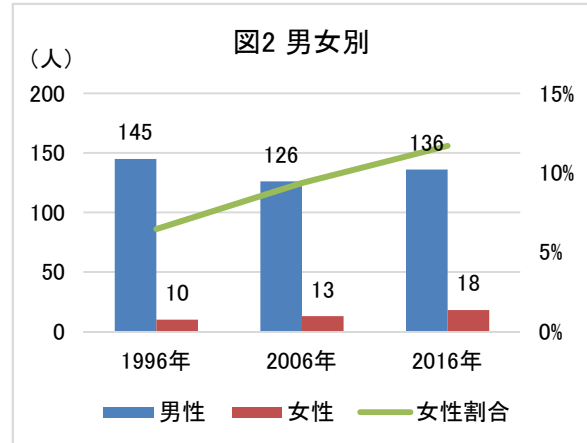
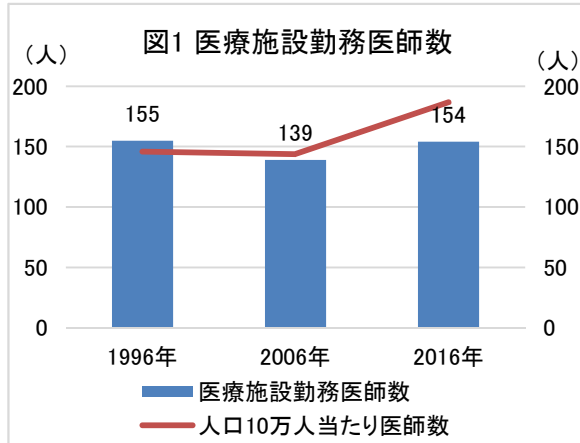
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(-6%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(80%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1人(1%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(-3%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は36%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は23人(-37%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

能代・山本医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	106,324	96,656	82,476	-23,848	-22%	-9,668	-9%	-14,180	-15%	
総医師数	158	141	157	-1	-1%	-17	-11%	16	11%	
人口10万対	148.6	145.9	190.4	41.8	28%	-2.7	-2%	44.5	30%	
医療施設勤務医師数	155	139	154	-1	-1%	-16	-10%	15	11%	
人口10万対	145.8	143.8	186.7	40.9	28%	-2.0	-1%	42.9	30%	
男性医師数	145	126	136	-9	-6%	-19	-13%	10	8%	
人口10万対	136.4	130.4	164.9	28.5	21%	-6.0	-4%	34.5	26%	
女性医師数	10	13	18	8	80%	3	30%	5	38%	
人口10万対	9.4	13.4	21.8	12.4	132%	4.0	43%	8.4	62%	
病院勤務医師数	97	82	98	1	1%	-15	-15%	16	20%	
人口10万対	91.2	84.8	118.8	27.6	30%	-6.4	-7%	34.0	40%	
診療所勤務医師数	58	57	56	-2	-3%	-1	-2%	-1	-2%	
人口10万対	54.6	59.0	67.9	13.3	24%	4.4	8%	8.9	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.2	50.4	54.9	6.7	14%	2.2	5%	4.5	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	39	17	13	-26	-67%	-22	-56%	-4	-24%
	35-49歳	62	56	39	-23	-37%	-6	-10%	-17	-30%
	50-64歳	23	44	68	45	196%	21	91%	24	55%
	65歳以上	31	22	34	3	10%	-9	-29%	12	55%
	75歳以上(再掲)	14	8	11	-3	-21%	-6	-43%	3	38%
男性	24-34歳	35	15	10	-25	-71%	-20	-57%	-5	-33%
	35-49歳	60	47	33	-27	-45%	-13	-22%	-14	-30%
	50-64歳	21	43	61	40	190%	22	105%	18	42%
	65歳以上	29	21	32	3	10%	-8	-28%	11	52%
	75歳以上(再掲)	13	8	10	-3	-23%	-5	-38%	2	25%
女性	24-34歳	4	2	3	-1	-25%	-2	-50%	1	50%
	35-49歳	2	9	6	4	200%	7	350%	-3	-33%
	50-64歳	2	1	7	5	250%	-1	-50%	6	600%
	65歳以上	2	1	2	0	0%	-1	-50%	1	100%
	75歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	
病院	24-34歳	38	17	13	-25	-66%	-21	-55%	-4	-24%
	35-49歳	44	43	30	-14	-32%	-1	-2%	-13	-30%
	50-64歳	4	15	44	40	1000%	11	275%	29	193%
	65歳以上	11	7	11	0	0%	-4	-36%	4	57%
	75歳以上(再掲)	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	18	13	9	-9	-50%	-5	-28%	-4	-31%
	50-64歳	19	29	24	5	26%	10	53%	-5	-17%
	65歳以上	20	15	23	3	15%	-5	-25%	8	53%
	75歳以上(再掲)	10	6	7	-3	-30%	-4	-40%	1	17%
	85歳以上(再掲)	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	

能代・山本医療圏

＜医師数の推移＞

能代・山本医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、泌尿器科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、リハビリテーション科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	155	145.8	45	139	143.8	42	154	186.7	44	-1	-1%	40.9	28%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	73	68.7	48	56	57.9	43	58	70.3	44	-15	-21%	1.7	2%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	6.6	40	8	8.3	43	7	8.5	41	0	0%	1.9	29%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	6	5.6	44	9	9.3	49	8	9.7	45	2	33%	4.1	72%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	18.8	48	19	19.7	52	21	25.5	59	1	5%	6.7	35%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.9	58	0	0.0	41	0	0.0	41	-1	-100%	-0.9	-100%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.9	52	0	0.0	38	0	0.0	36	-2	-100%	-1.9	-100%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	2.8	43	3	3.1	42	2	2.4	37	-1	-33%	-0.4	-14%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	11.3	46	11	11.4	43	12	14.5	46	0	0%	3.3	29%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	2.8	43	2	2.1	37	3	3.6	40	0	0%	0.8	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	5.6	43	7	7.2	44	7	8.5	45	1	17%	2.8	50%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	3.8	41	4	4.1	41	5	6.1	46	1	25%	2.3	61%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	6	5.6	57	6	6.2	56	8	9.7	66	2	33%	4.1	72%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	7	6.6	42	7	7.2	45	8	9.7	49	1	14%	3.1	47%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.9	53	3	3.1	64	2	2.4	53	1	100%	1.5	158%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.9	45	1	1.0	41	2	2.4	43	0	0%	0.5	29%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.9	43	1	1.0	39	2	2.4	39	0	0%	0.5	29%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	7	8.5	45	7	7%	8.5	85%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	2	2.1	44	2	2.4	41	2	2%	2.4	24%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

能代・山本医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は25,856人(-31%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-5%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は260人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

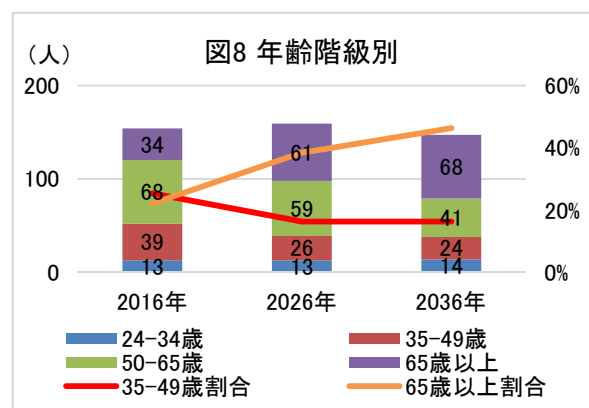
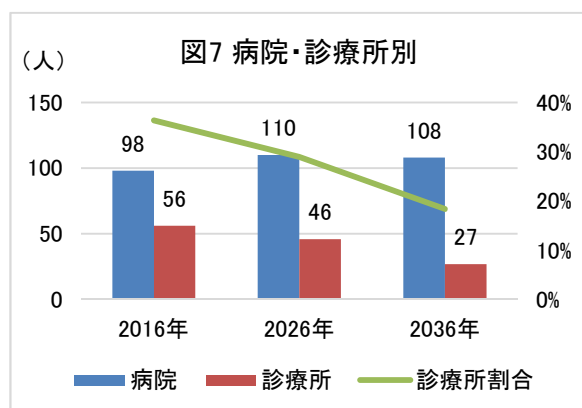
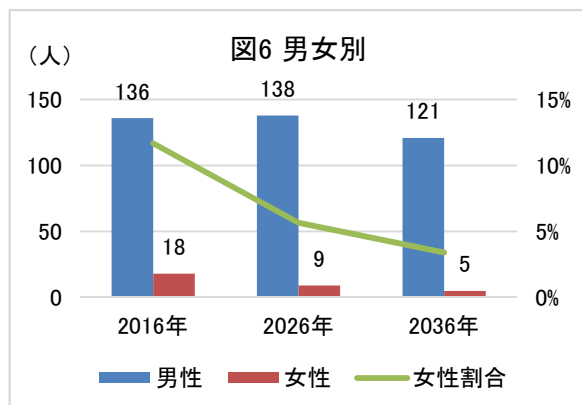
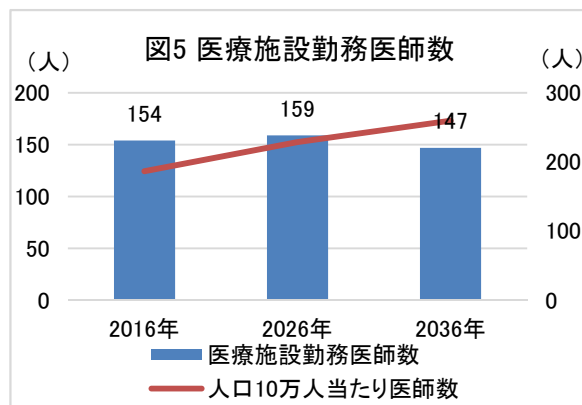
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて15人(-11%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に13人(-72%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は3%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて10人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に29人(-52%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は18%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は15人(-38%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて34人(100%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年46%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



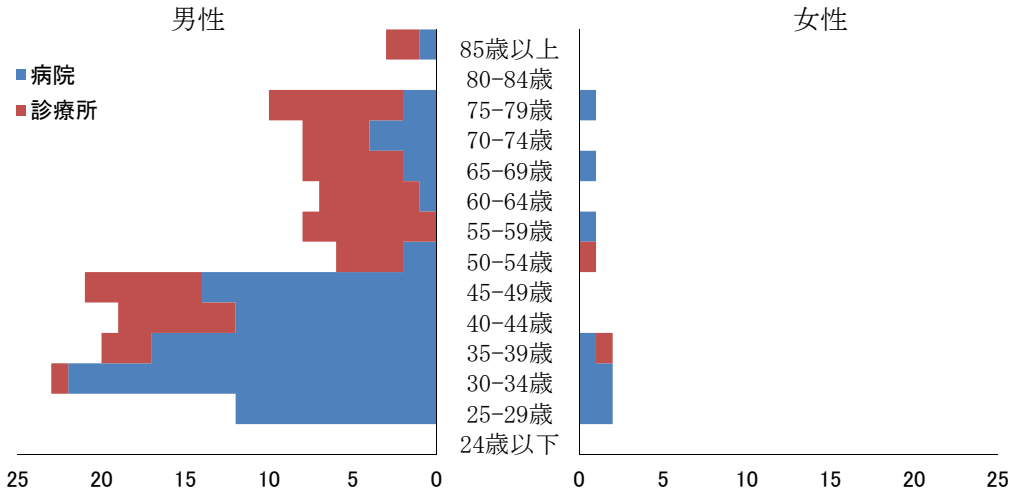
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

能代・山本医療圏

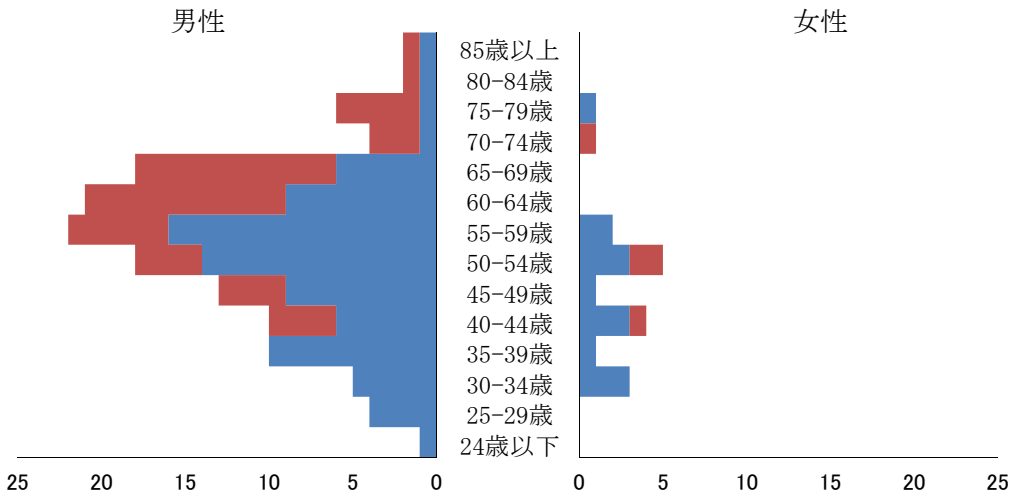
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

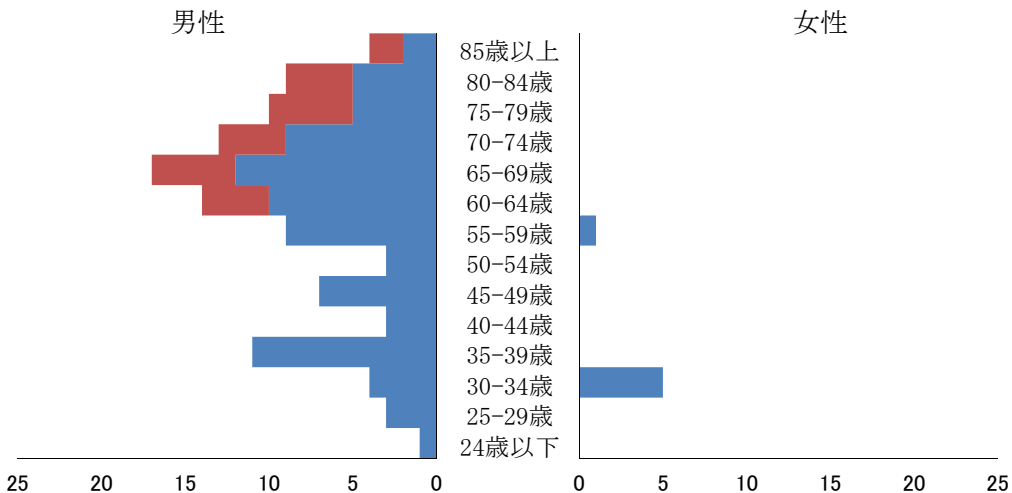
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

能代・山本医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	82,476	69,428	56,620	-25,856	-31%	-13,048	-16%	-12,808	-18%	
医療施設勤務医師数	154	159	147	-7	-5%	5	3%	-12	-8%	
人口10万対	186.7	229.0	259.6	72.9	39%	42.3	23%	30.6	13%	
男性医師数	136	138	121	-15	-11%	2	1%	-17	-12%	
人口10万対	164.9	198.8	213.7	48.8	30%	33.9	21%	14.9	8%	
女性医師数	18	9	5	-13	-72%	-9	-50%	-4	-44%	
人口10万対	21.8	13.0	8.8	-13.0	-60%	-8.9	-41%	-4.1	-32%	
病院勤務医師数	98	110	108	10	10%	12	12%	-2	-2%	
人口10万対	118.8	158.4	190.7	71.9	61%	39.6	33%	32.3	20%	
診療所勤務医師数	56	46	27	-29	-52%	-10	-18%	-19	-41%	
人口10万対	67.9	66.3	47.7	-20.2	-30%	-1.6	-2%	-18.6	-28%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	13	13	14	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	39	26	24	-15	-38%	-13	-33%	-2	-8%
	50-64歳	68	59	41	-27	-40%	-9	-13%	-18	-31%
	65歳以上	34	61	68	34	100%	27	79%	7	11%
	75歳以上(再掲)	11	19	30	19	173%	8	73%	11	58%
男性	24-34歳	10	10	8	-2	-20%	0	0%	-2	-20%
	35-49歳	33	24	25	-8	-24%	-9	-27%	1	4%
	50-64歳	61	48	29	-32	-52%	-13	-21%	-19	-40%
	65歳以上	32	56	59	27	84%	24	75%	3	5%
	75歳以上(再掲)	10	17	27	17	170%	7	70%	10	59%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	6	0	0	-6	-100%	-6	-100%	0	
	50-64歳	7	6	0	-7	-100%	-1	-14%	-6	-100%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	13	13	14	1	8%	0	0%	1	8%
	35-49歳	30	21	20	-10	-33%	-9	-30%	-1	-5%
	50-64歳	44	47	32	-12	-27%	3	7%	-15	-32%
	65歳以上	11	29	42	31	282%	18	164%	13	45%
	75歳以上(再掲)	4	6	17	13	325%	2	50%	11	183%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	0	0	-9	-100%	-9	-100%	0	
	50-64歳	24	16	6	-18	-75%	-8	-33%	-10	-63%
	65歳以上	23	30	21	-2	-9%	7	30%	-9	-30%
	75歳以上(再掲)	7	12	11	4	57%	5	71%	-1	-8%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

秋田周辺医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は36,521人(-8%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は249人(25%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は309人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は37%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

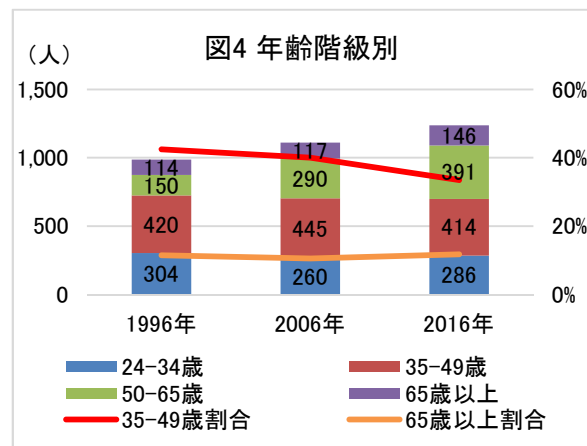
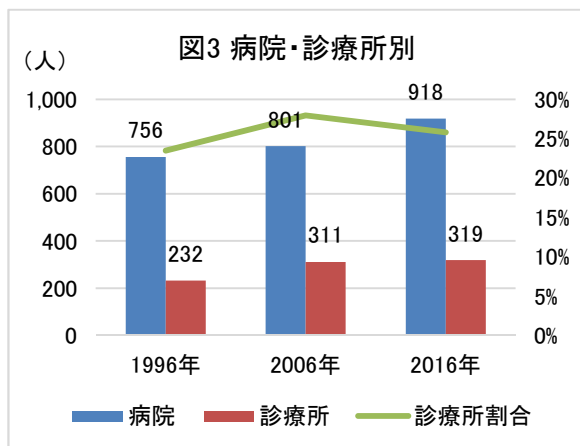
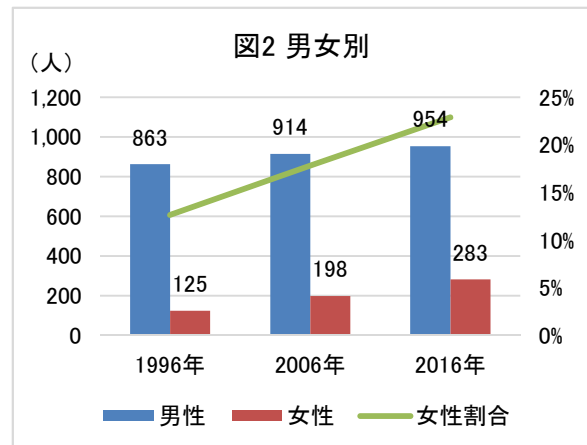
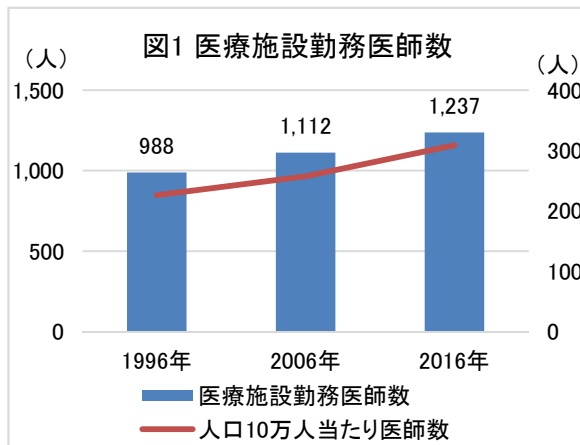
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて91人(11%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に158人(126%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は23%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて162人(21%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に87人(38%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は26%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は6人(-1%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて32人(28%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年12%、2016年12%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

秋田周辺医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	437,432	432,434	400,911	-36,521	-8%	-4,998	-1%	-31,523	-7%	
総医師数	1,073	1,198	1,313	240	22%	125	12%	115	10%	
人口10万対	245.3	277.0	327.5	82.2	34%	31.7	13%	50.5	18%	
医療施設勤務医師数	988	1,112	1,237	249	25%	124	13%	125	11%	
人口10万対	225.9	257.1	308.5	82.7	37%	31.3	14%	51.4	20%	
男性医師数	863	914	954	91	11%	51	6%	40	4%	
人口10万対	197.3	211.4	238.0	40.7	21%	14.1	7%	26.6	13%	
女性医師数	125	198	283	158	126%	73	58%	85	43%	
人口10万対	28.6	45.8	70.6	42.0	147%	17.2	60%	24.8	54%	
病院勤務医師数	756	801	918	162	21%	45	6%	117	15%	
人口10万対	172.8	185.2	229.0	56.2	32%	12.4	7%	43.7	24%	
診療所勤務医師数	232	311	319	87	38%	79	34%	8	3%	
人口10万対	53.0	71.9	79.6	26.5	50%	18.9	36%	7.7	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	43.9	46.4	48.0	4.0	9%	2.5	6%	1.6	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	304	260	286	-18	-6%	-44	-14%	26	10%
	35-49歳	420	445	414	-6	-1%	25	6%	-31	-7%
	50-64歳	150	290	391	241	161%	140	93%	101	35%
	65歳以上	114	117	146	32	28%	3	3%	29	25%
	75歳以上(再掲)	16	53	45	29	181%	37	231%	-8	-15%
男性	24-34歳	255	179	185	-70	-27%	-76	-30%	6	3%
	35-49歳	370	377	303	-67	-18%	7	2%	-74	-20%
	50-64歳	135	253	339	204	151%	118	87%	86	34%
	65歳以上	103	105	127	24	23%	2	2%	22	21%
	75歳以上(再掲)	15	44	39	24	160%	29	193%	-5	-11%
女性	24-34歳	49	81	101	52	106%	32	65%	20	25%
	35-49歳	50	68	111	61	122%	18	36%	43	63%
	50-64歳	15	37	52	37	247%	22	147%	15	41%
	65歳以上	11	12	19	8	73%	1	9%	7	58%
	75歳以上(再掲)	1	9	6	5	500%	8	800%	-3	-33%
病院	24-34歳	300	253	284	-16	-5%	-47	-16%	31	12%
	35-49歳	351	357	345	-6	-2%	6	2%	-12	-3%
	50-64歳	83	163	227	144	173%	80	96%	64	39%
	65歳以上	22	28	62	40	182%	6	27%	34	121%
	75歳以上(再掲)	6	8	17	11	183%	2	33%	9	113%
診療所	24-34歳	4	7	2	-2	-50%	3	75%	-5	-71%
	35-49歳	69	88	69	0	0%	19	28%	-19	-22%
	50-64歳	67	127	164	97	145%	60	90%	37	29%
	65歳以上	92	89	84	-8	-9%	-3	-3%	-5	-6%
	75歳以上(再掲)	10	45	28	18	180%	35	350%	-17	-38%
	85歳以上(再掲)	1	1	9	8	800%	0	0%	8	800%

秋田周辺医療圏

＜医師数の推移＞

秋田周辺医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、臨床研修医であり、少ない診療科は、形成外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、形成外科、皮膚科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	988	225.9	55	1,112	257.1	56	1,237	308.5	58	249	25%	82.7	37%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	350	80.0	51	395	91.3	55	443	110.5	57	93	27%	30.5	38%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	72	16.5	62	73	16.9	62	74	18.5	59	2	3%	2.0	12%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	64	14.6	66	67	15.5	63	84	21.0	66	20	31%	6.3	43%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	104	23.8	53	90	20.8	54	83	20.7	52	-21	-20%	-3.1	-13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	7	1.6	68	7	1.6	69	5	1.2	59	-2	-29%	-0.4	-22%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	14	3.2	61	17	3.9	61	10	2.5	50	-4	-29%	-0.7	-22%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	32	7.3	61	35	8.1	64	38	9.5	64	6	19%	2.2	30%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	71	16.2	56	79	18.3	57	86	21.5	59	15	21%	5.2	32%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.5	45	5	1.2	48	5	1.2	45	3	150%	0.8	173%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	24	5.5	50	32	7.4	54	36	9.0	55	12	50%	3.5	64%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	47	10.7	54	47	10.9	53	56	14.0	59	9	19%	3.2	30%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	27	6.2	48	24	5.5	46	30	7.5	51	3	11%	1.3	21%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	30	6.9	62	38	8.8	68	40	10.0	67	10	33%	3.1	45%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	61	13.9	59	52	12.0	57	60	15.0	60	-1	-2%	1.0	7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	8	1.8	65	6	1.4	49	8	2.0	50	0	0%	0.2	9%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	26	5.9	59	24	5.5	56	21	5.2	50	-5	-19%	-0.7	-12%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	29	6.6	58	33	7.6	58	36	9.0	54	7	24%	2.3	35%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				7	1.6	52	10	2.5	50	3	43%	0.9	54%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				53	12.3	51	83	20.7	58	83	57%	8.4	69%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	20	4.6	50	28	6.5	53	29	7.2	50	9	45%	2.7	58%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

秋田周辺医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は86,618人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は172人(14%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は448人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

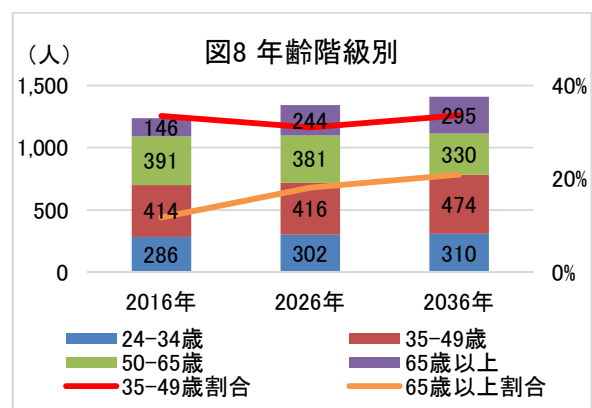
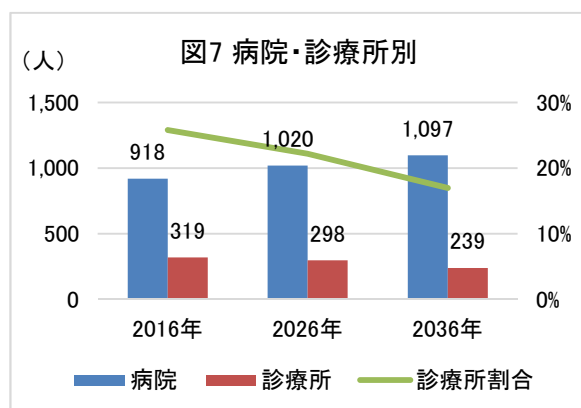
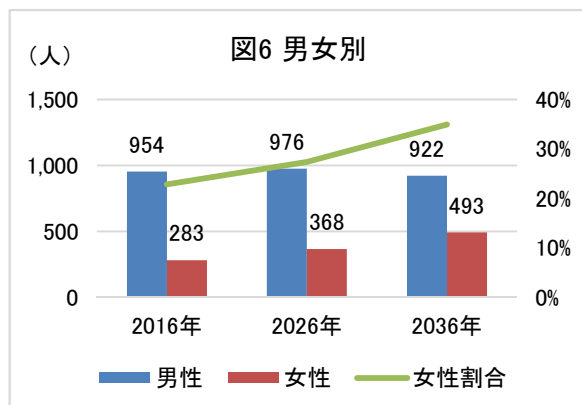
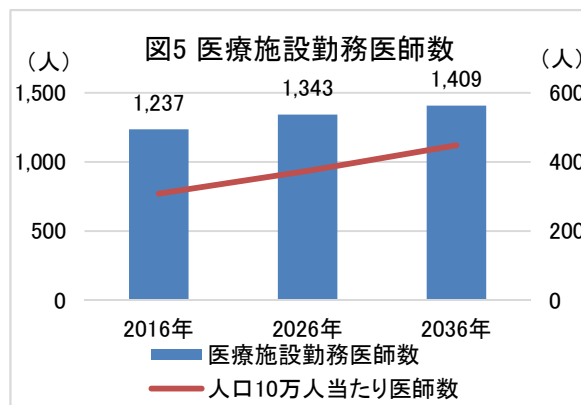
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて32人(-3%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に210人(74%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は35%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて179人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に80人(-25%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は17%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は60人(14%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて149人(102%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年12%、2036年21%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



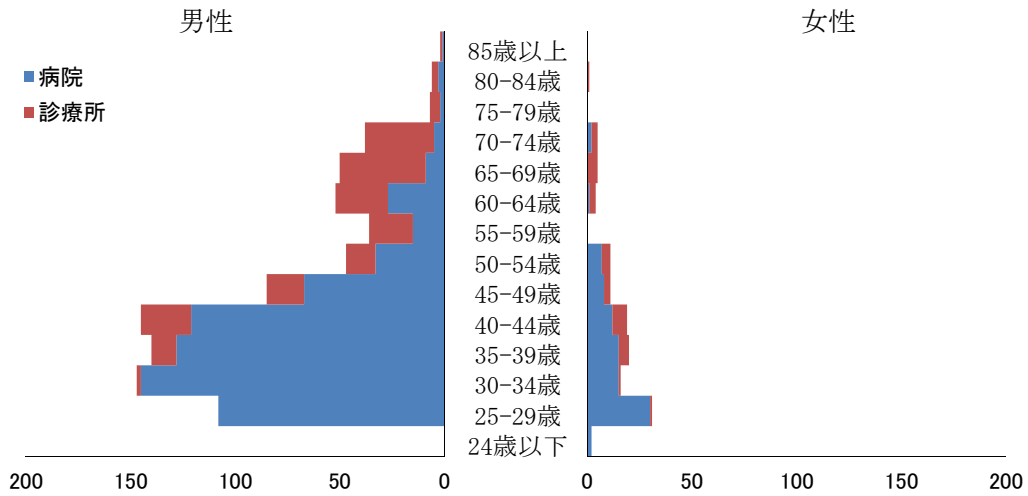
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

秋田周辺医療圏

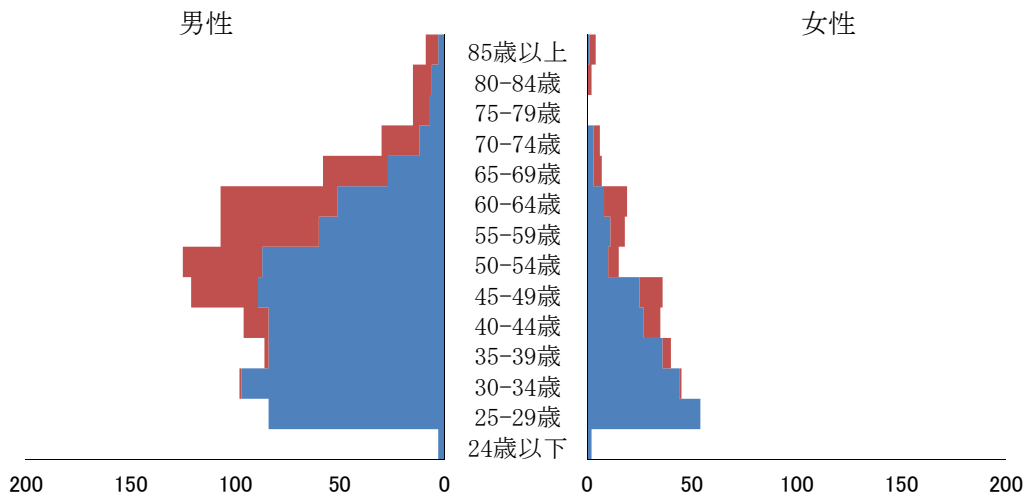
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

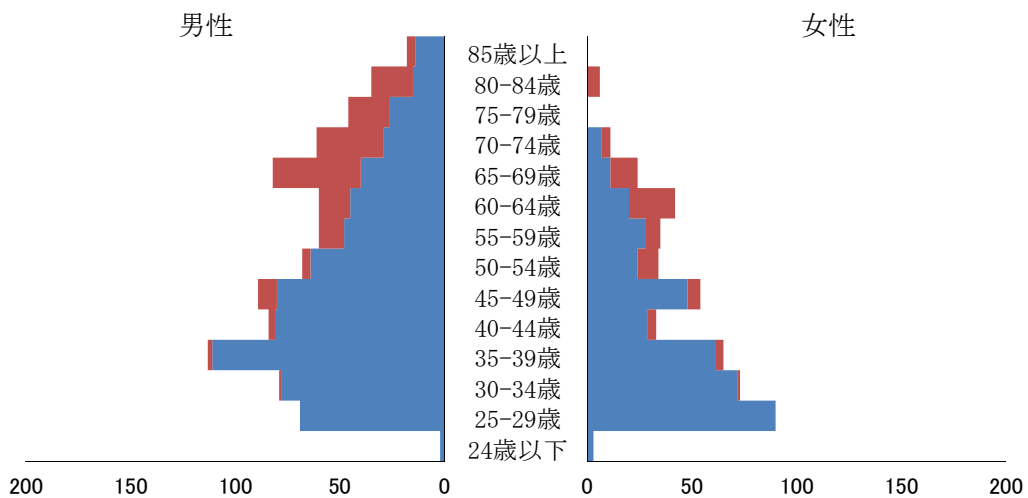
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

秋田周辺医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	400,911	359,151	314,293	-86,618	-22%	-41,760	-10%	-44,858	-12%	
医療施設勤務医師数	1,237	1,343	1,409	172	14%	106	9%	66	5%	
人口10万対	308.5	373.9	448.3	139.8	45%	65.4	21%	74.4	20%	
男性医師数	954	976	922	-32	-3%	22	2%	-54	-6%	
人口10万対	238.0	271.8	293.4	55.4	23%	33.8	14%	21.6	8%	
女性医師数	283	368	493	210	74%	85	30%	125	34%	
人口10万対	70.6	102.5	156.9	86.3	122%	31.9	45%	54.4	53%	
病院勤務医師数	918	1,020	1,097	179	19%	102	11%	77	8%	
人口10万対	229.0	284.0	349.0	120.1	52%	55.0	24%	65.0	23%	
診療所勤務医師数	319	298	239	-80	-25%	-21	-7%	-59	-20%	
人口10万対	79.6	83.0	76.0	-3.5	-4%	3.4	4%	-6.9	-8%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	286	302	310	24	8%	16	6%	8	3%
	35-49歳	414	416	474	60	14%	2	0%	58	14%
	50-64歳	391	381	330	-61	-16%	-10	-3%	-51	-13%
	65歳以上	146	244	295	149	102%	98	67%	51	21%
	75歳以上(再掲)	45	62	106	61	136%	17	38%	44	71%
男性	24-34歳	185	195	150	-35	-19%	10	5%	-45	-23%
	35-49歳	303	277	305	2	1%	-26	-9%	28	10%
	50-64歳	339	298	228	-111	-33%	-41	-12%	-70	-23%
	65歳以上	127	206	239	112	88%	79	62%	33	16%
	75歳以上(再掲)	39	52	87	48	123%	13	33%	35	67%
女性	24-34歳	101	107	165	64	63%	6	6%	58	54%
	35-49歳	111	138	166	55	50%	27	24%	28	20%
	50-64歳	52	89	116	64	123%	37	71%	27	30%
	65歳以上	19	34	46	27	142%	15	79%	12	35%
	75歳以上(再掲)	6	7	10	4	67%	1	17%	3	43%
病院	24-34歳	284	300	308	24	8%	16	6%	8	3%
	35-49歳	345	363	412	67	19%	18	5%	49	13%
	50-64歳	227	243	221	-6	-3%	16	7%	-22	-9%
	65歳以上	62	114	156	94	152%	52	84%	42	37%
	75歳以上(再掲)	17	39	68	51	300%	22	129%	29	74%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	69	31	32	-37	-54%	-38	-55%	1	3%
	50-64歳	164	125	60	-104	-63%	-39	-24%	-65	-52%
	65歳以上	84	140	145	61	73%	56	67%	5	4%
	75歳以上(再掲)	28	30	54	26	93%	2	7%	24	80%
	85歳以上(再掲)	9	6	6	-3	-33%	-3	-33%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

由利本荘・にかほ医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は20,495人（-16%）減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は26人（16%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は181人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均（31%）を上回る。

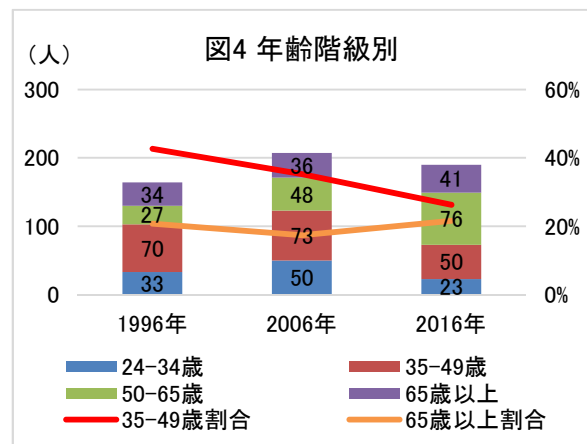
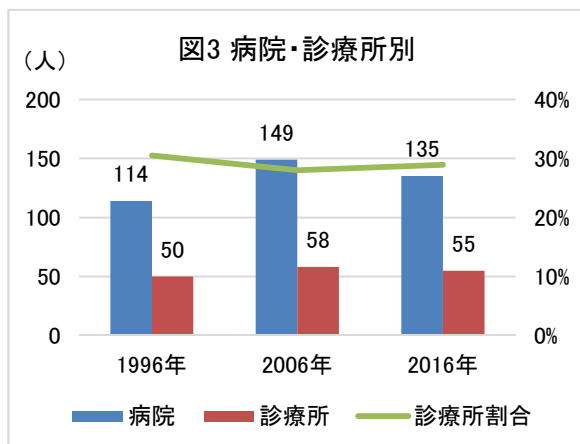
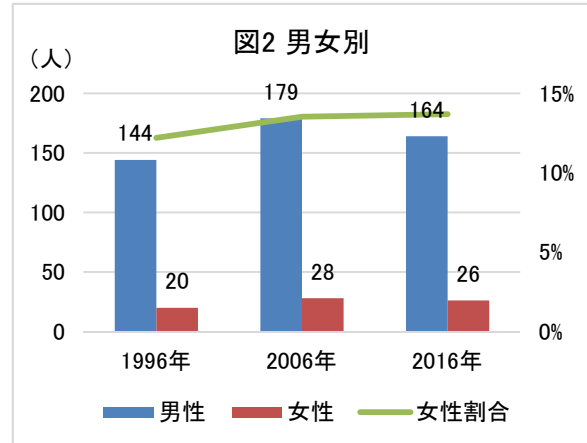
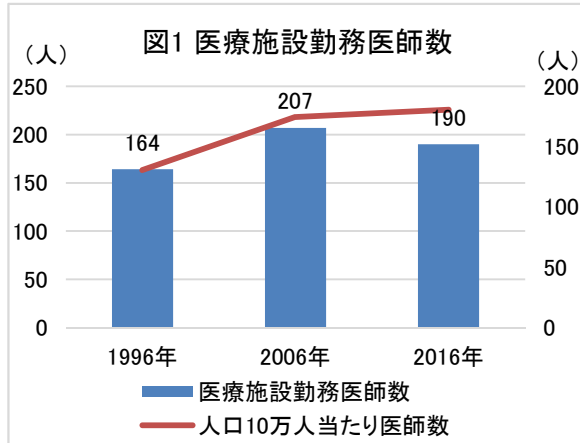
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて20人（14%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人（30%）増え、全国平均（111%）を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて21人（18%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人（10%）増え、全国平均（25%）を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は29%と、全国平均（34%）を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人（-29%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて7人（21%）増え、全国平均（20%）を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年22%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

由利本荘・にかほ医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	125,746	118,527	105,251	-20,495	-16%	-7,219	-6%	-13,276	-11%	
総医師数	169	217	199	30	18%	48	28%	-18	-8%	
人口10万対	134.4	183.1	189.1	54.7	41%	48.7	36%	6.0	3%	
医療施設勤務医師数	164	207	190	26	16%	43	26%	-17	-8%	
人口10万対	130.4	174.6	180.5	50.1	38%	44.2	34%	5.9	3%	
男性医師数	144	179	164	20	14%	35	24%	-15	-8%	
人口10万対	114.5	151.0	155.8	41.3	36%	36.5	32%	4.8	3%	
女性医師数	20	28	26	6	30%	8	40%	-2	-7%	
人口10万対	15.9	23.6	24.7	8.8	55%	7.7	49%	1.1	5%	
病院勤務医師数	114	149	135	21	18%	35	31%	-14	-9%	
人口10万対	90.7	125.7	128.3	37.6	41%	35.1	39%	2.6	2%	
診療所勤務医師数	50	58	55	5	10%	8	16%	-3	-5%	
人口10万対	39.8	48.9	52.3	12.5	31%	9.2	23%	3.3	7%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.4	48.0	54.2	5.8	12%	-0.4	-1%	6.1	13%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	33	50	23	-10	-30%	17	52%	-27	-54%
	35-49歳	70	73	50	-20	-29%	3	4%	-23	-32%
	50-64歳	27	48	76	49	181%	21	78%	28	58%
	65歳以上	34	36	41	7	21%	2	6%	5	14%
	75歳以上(再掲)	9	18	15	6	67%	9	100%	-3	-17%
男性	24-34歳	28	34	19	-9	-32%	6	21%	-15	-44%
	35-49歳	62	65	39	-23	-37%	3	5%	-26	-40%
	50-64歳	26	47	66	40	154%	21	81%	19	40%
	65歳以上	28	33	40	12	43%	5	18%	7	21%
	75歳以上(再掲)	7	16	14	7	100%	9	129%	-2	-13%
女性	24-34歳	5	16	4	-1	-20%	11	220%	-12	-75%
	35-49歳	8	8	11	3	38%	0	0%	3	38%
	50-64歳	1	1	10	9	900%	0	0%	9	900%
	65歳以上	6	3	1	-5	-83%	-3	-50%	-2	-67%
	75歳以上(再掲)	2	2	1	-1	-50%	0	0%	-1	-50%
病院	24-34歳	32	50	23	-9	-28%	18	56%	-27	-54%
	35-49歳	60	58	42	-18	-30%	-2	-3%	-16	-28%
	50-64歳	12	29	49	37	308%	17	142%	20	69%
	65歳以上	10	12	21	11	110%	2	20%	9	75%
	75歳以上(再掲)	1	4	5	4	400%	3	300%	1	25%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	10	15	8	-2	-20%	5	50%	-7	-47%
	50-64歳	15	19	27	12	80%	4	27%	8	42%
	65歳以上	24	24	20	-4	-17%	0	0%	-4	-17%
	75歳以上(再掲)	8	14	10	2	25%	6	75%	-4	-29%
	85歳以上(再掲)	1	5	2	1	100%	4	400%	-3	-60%

由利本荘・にかほ医療圏

＜医師数の推移＞

由利本荘・にかほ医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、精神科、心臓血管外科、皮膚科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、整形外科、眼科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	164	130.4	43	207	174.6	46	190	180.5	43	26	16%	50.1	38%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	78	62.0	46	86	72.6	48	79	75.1	45	1	1%	13.0	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	7.2	42	8	6.7	39	10	9.5	43	1	11%	2.3	33%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	11	8.7	52	15	12.7	56	7	6.7	40	-4	-36%	-2.1	-24%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	19	15.1	44	21	17.7	49	20	19.0	50	1	5%	3.9	26%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.6	50	2	1.7	48	1	1.0	41	-1	-50%	-0.6	-40%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	3.2	45	3	2.5	40	5	4.8	46	1	25%	1.6	49%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	9	7.2	38	12	10.1	40	15	14.3	45	6	67%	7.1	99%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	6	4.8	48	4	3.4	41	4	3.8	41	-2	-33%	-1.0	-20%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	3	2.4	36	2	1.7	31	5	4.8	36	2	67%	2.4	99%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	2.4	37	5	4.2	41	4	3.8	39	1	33%	1.4	59%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	2.4	42	4	3.4	44	5	4.8	47	2	67%	2.4	99%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	8	6.4	42	8	6.7	44	10	9.5	48	2	25%	3.1	49%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.8	51	2	1.7	52	2	1.9	50	1	100%	1.1	139%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.6	44	1	0.8	40	3	2.9	44	1	50%	1.3	79%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.4	45	4	3.4	46	6	5.7	47	3	100%	3.3	139%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				27	22.8	63	10	9.5	46	10	-63%	-13.3	-58%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	2.4	45	3	2.5	45	4	3.8	44	1	33%	1.4	59%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

由利本荘・にかほ医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は24,412人(-23%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は24人(-13%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は205人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は14%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

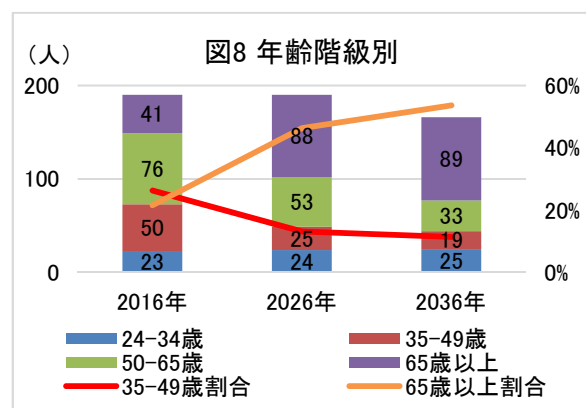
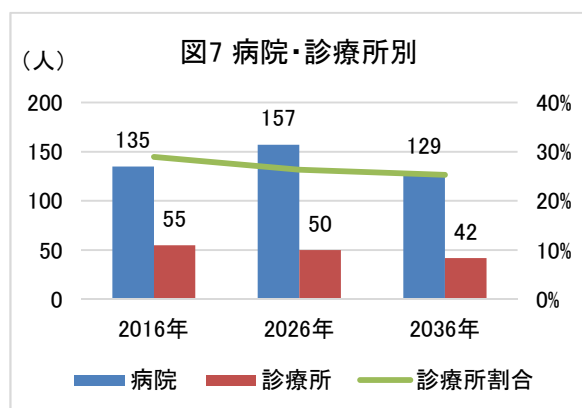
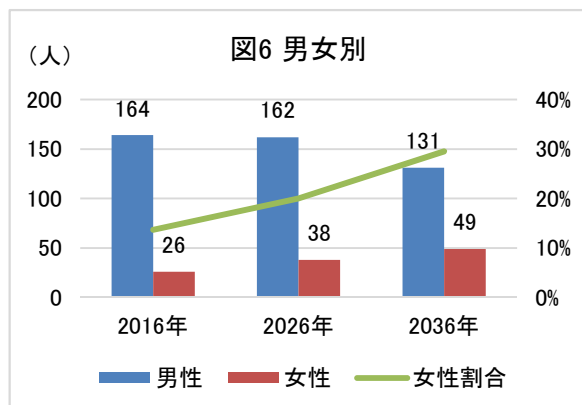
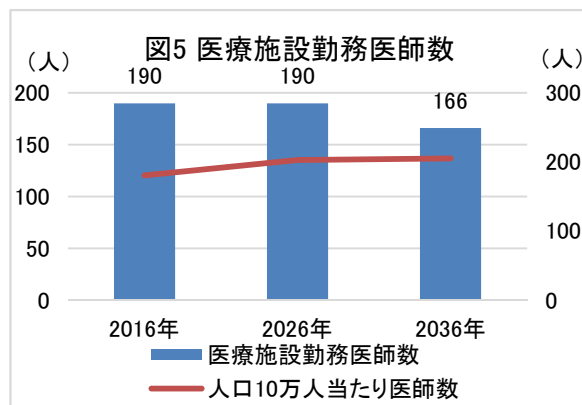
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて33人(-20%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に23人(88%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(-4%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に13人(-24%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は31人(-62%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて48人(117%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年22%、2036年54%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



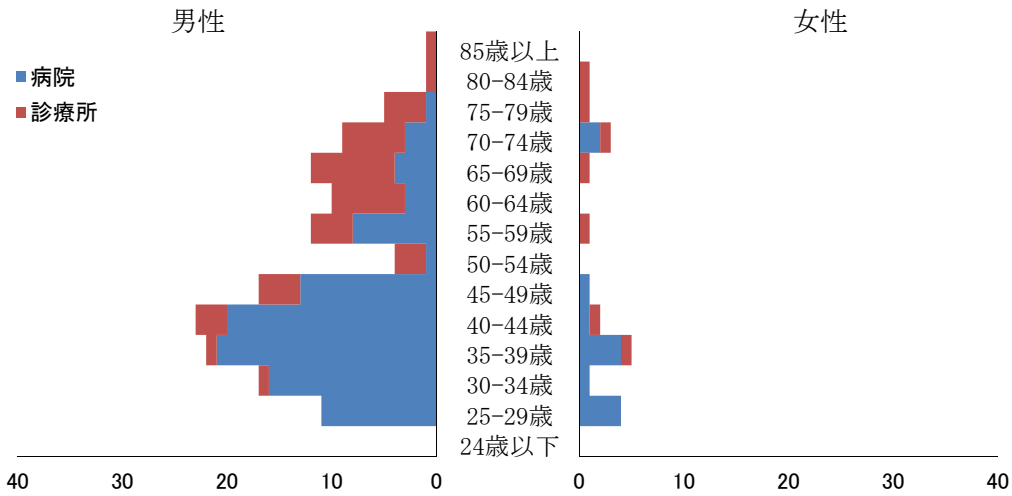
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

由利本荘・にかほ医療圏

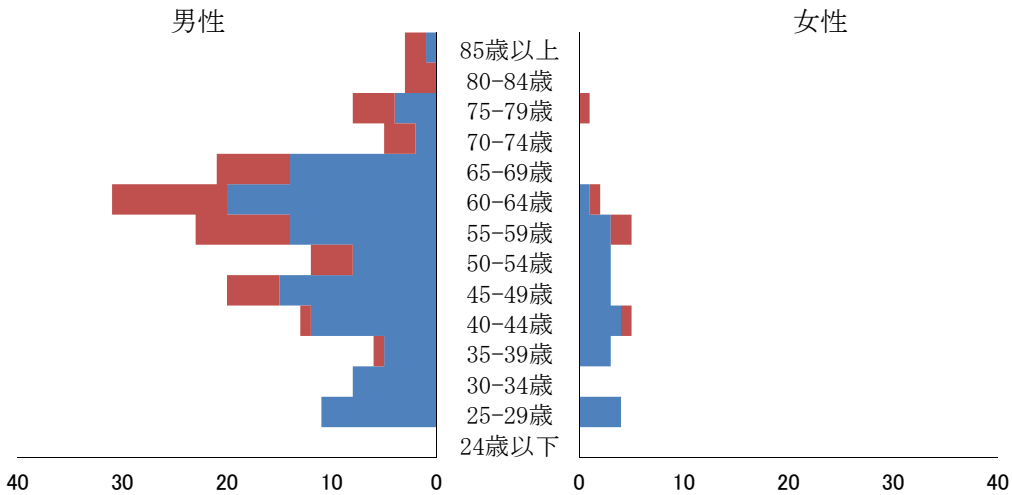
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

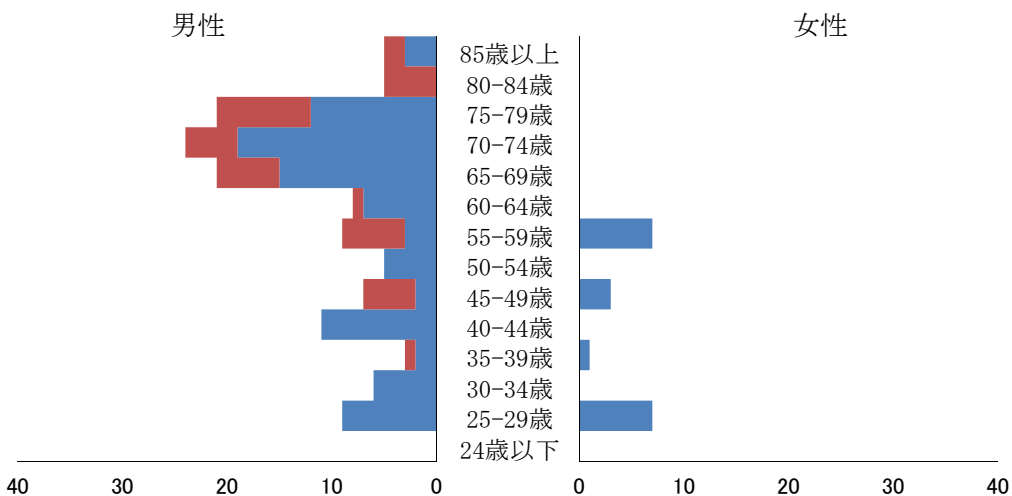
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

由利本荘・にかほ医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	105,251	93,758	80,839	-24,412	-23%	-11,493	-11%	-12,919	-14%	
医療施設勤務医師数	190	190	166	-24	-13%	0	0%	-24	-13%	
人口10万対	180.5	202.6	205.3	24.8	14%	22.1	12%	2.7	1%	
男性医師数	164	162	131	-33	-20%	-2	-1%	-31	-19%	
人口10万対	155.8	172.8	162.1	6.2	4%	17.0	11%	-10.7	-6%	
女性医師数	26	38	49	23	88%	12	46%	11	29%	
人口10万対	24.7	40.5	60.6	35.9	145%	15.8	64%	20.1	50%	
病院勤務医師数	135	157	129	-6	-4%	22	16%	-28	-18%	
人口10万対	128.3	167.5	159.6	31.3	24%	39.2	31%	-7.9	-5%	
診療所勤務医師数	55	50	42	-13	-24%	-5	-9%	-8	-16%	
人口10万対	52.3	53.3	52.0	-0.3	-1%	1.1	2%	-1.4	-3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	23	24	25	2	9%	1	4%	1	4%
	35-49歳	50	25	19	-31	-62%	-25	-50%	-6	-24%
	50-64歳	76	53	33	-43	-57%	-23	-30%	-20	-38%
	65歳以上	41	88	89	48	117%	47	115%	1	1%
	75歳以上(再掲)	15	22	45	30	200%	7	47%	23	105%
男性	24-34歳	19	20	15	-4	-21%	1	5%	-5	-25%
	35-49歳	39	21	18	-21	-54%	-18	-46%	-3	-14%
	50-64歳	66	41	23	-43	-65%	-25	-38%	-18	-44%
	65歳以上	40	80	75	35	88%	40	100%	-5	-6%
	75歳以上(再掲)	14	22	38	24	171%	8	57%	16	73%
女性	24-34歳	4	4	7	3	75%	0	0%	3	75%
	35-49歳	11	10	4	-7	-64%	-1	-9%	-6	-60%
	50-64歳	10	24	38	28	280%	14	140%	14	58%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	23	24	25	2	9%	1	4%	1	4%
	35-49歳	42	21	17	-25	-60%	-21	-50%	-4	-19%
	50-64歳	49	38	25	-24	-49%	-11	-22%	-13	-34%
	65歳以上	21	74	62	41	195%	53	252%	-12	-16%
	75歳以上(再掲)	5	10	17	12	240%	5	100%	7	70%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	8	6	6	-2	-25%	-2	-25%	0	0%
	50-64歳	27	14	8	-19	-70%	-13	-48%	-6	-43%
	65歳以上	20	30	28	8	40%	10	50%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	10	10	17	7	70%	0	0%	7	70%
	85歳以上(再掲)	2	1	1	-1	-50%	-1	-50%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大仙・仙北医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は30,471人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は30人(17%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は155人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は45%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

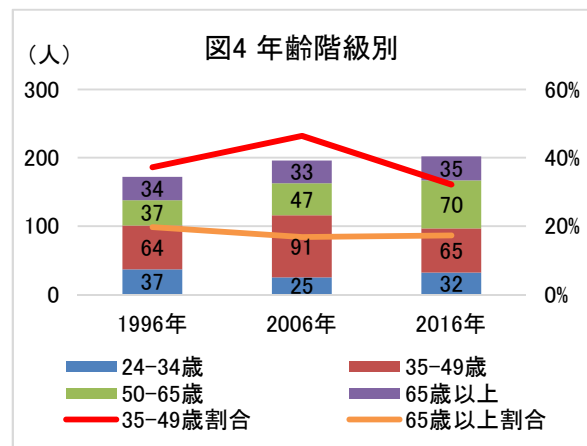
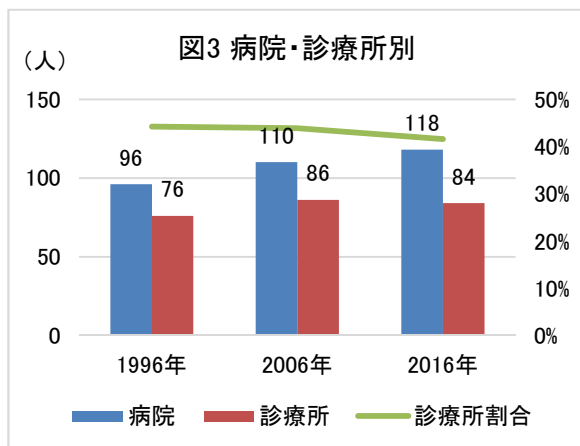
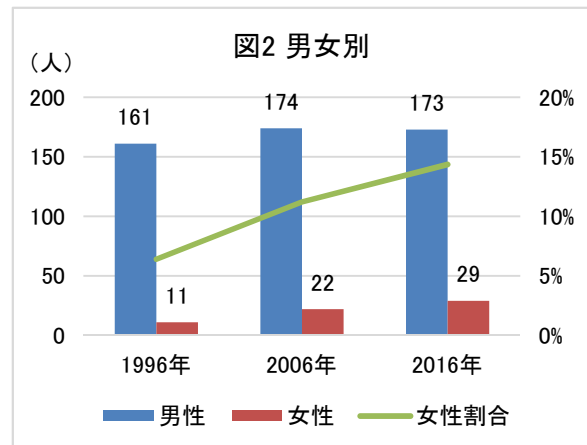
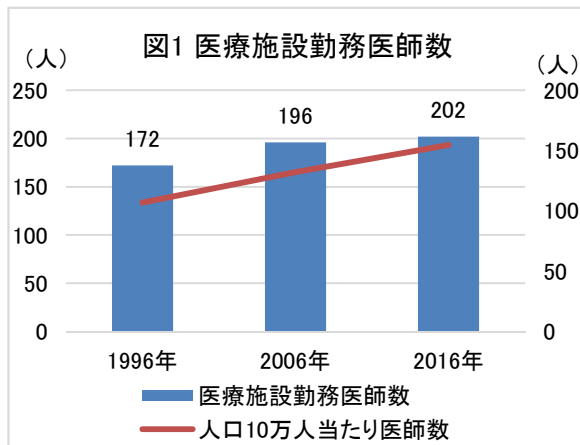
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて12人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に18人(164%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて22人(23%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に8人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は42%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は1人(2%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(3%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年17%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

大仙・仙北医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	161,056	148,258	130,585	-30,471	-19%	-12,798	-8%	-17,673	-12%	
総医師数	179	207	210	31	17%	28	16%	3	1%	
人口10万対	111.1	139.6	160.8	49.7	45%	28.5	26%	21.2	15%	
医療施設勤務医師数	172	196	202	30	17%	24	14%	6	3%	
人口10万対	106.8	132.2	154.7	47.9	45%	25.4	24%	22.5	17%	
男性医師数	161	174	173	12	7%	13	8%	-1	-1%	
人口10万対	100.0	117.4	132.5	32.5	33%	17.4	17%	15.1	13%	
女性医師数	11	22	29	18	164%	11	100%	7	32%	
人口10万対	6.8	14.8	22.2	15.4	225%	8.0	117%	7.4	50%	
病院勤務医師数	96	110	118	22	23%	14	15%	8	7%	
人口10万対	59.6	74.2	90.4	30.8	52%	14.6	24%	16.2	22%	
診療所勤務医師数	76	86	84	8	11%	10	13%	-2	-2%	
人口10万対	47.2	58.0	64.3	17.1	36%	10.8	23%	6.3	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.8	49.5	50.8	1.0	2%	-0.3	-1%	1.3	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	37	25	32	-5	-14%	-12	-32%	7	28%
	35-49歳	64	91	65	1	2%	27	42%	-26	-29%
	50-64歳	37	47	70	33	89%	10	27%	23	49%
	65歳以上	34	33	35	1	3%	-1	-3%	2	6%
	75歳以上(再掲)	12	15	15	3	25%	3	25%	0	0%
男性	24-34歳	31	21	24	-7	-23%	-10	-32%	3	14%
	35-49歳	63	75	52	-11	-17%	12	19%	-23	-31%
	50-64歳	36	47	64	28	78%	11	31%	17	36%
	65歳以上	31	31	33	2	6%	0	0%	2	6%
	75歳以上(再掲)	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
女性	24-34歳	6	4	8	2	33%	-2	-33%	4	100%
	35-49歳	1	16	13	12	1200%	15	1500%	-3	-19%
	50-64歳	1	0	6	5	500%	-1	-100%	6	
	65歳以上	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	2	2	2		2		0	0%
病院	24-34歳	36	25	32	-4	-11%	-11	-31%	7	28%
	35-49歳	45	61	49	4	9%	16	36%	-12	-20%
	50-64歳	14	22	33	19	136%	8	57%	11	50%
	65歳以上	1	2	4	3	300%	1	100%	2	100%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	19	30	16	-3	-16%	11	58%	-14	-47%
	50-64歳	23	25	37	14	61%	2	9%	12	48%
	65歳以上	33	31	31	-2	-6%	-2	-6%	0	0%
	75歳以上(再掲)	12	15	15	3	25%	3	25%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	1	4	3	300%	0	0%	3	300%

大仙・仙北医療圏

＜医師数の推移＞

大仙・仙北医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、整形外科、皮膚科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	172	106.8	41	196	132.2	41	202	154.7	41	30	17%	47.9	45%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	75	46.6	41	74	49.9	40	67	51.3	38	-8	-11%	4.7	10%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	4.3	35	8	5.4	36	8	6.1	37	1	14%	1.8	41%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	11	6.8	47	17	11.5	54	21	16.1	57	10	91%	9.3	135%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	24	14.9	44	18	12.1	41	16	12.3	41	-8	-33%	-2.6	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	3.7	47	6	4.0	46	9	6.9	54	3	50%	3.2	85%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	14	8.7	41	12	8.1	36	13	10.0	37	-1	-7%	1.3	15%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.5	42	2	1.3	35	2	1.5	34	-2	-50%	-1.0	-38%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	3.1	38	7	4.7	38	5	3.8	34	0	0%	0.7	23%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	3.7	41	7	4.7	43	7	5.4	44	1	17%	1.6	44%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	2.5	43	7	4.7	50	8	6.1	52	4	100%	3.6	147%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	10	6.2	41	9	6.1	42	9	6.9	43	-1	-10%	0.7	11%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	6	4.0	71	5	3.8	62	5	5%	3.8	5%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	1	0.6	41	2	1.3	42	1	0.8	38	0	0%	0.1	23%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	1.2	42	3	2.0	42	5	3.8	42	3	150%	2.6	208%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				15	10.1	49	15	11.5	48	15	0%	1.4	14%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	3	1.9	44	3	2.0	44	11	8.4	52	8	267%	6.6	352%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

大仙・仙北医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は36,772人(-28%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は15人(7%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は231人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は50%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

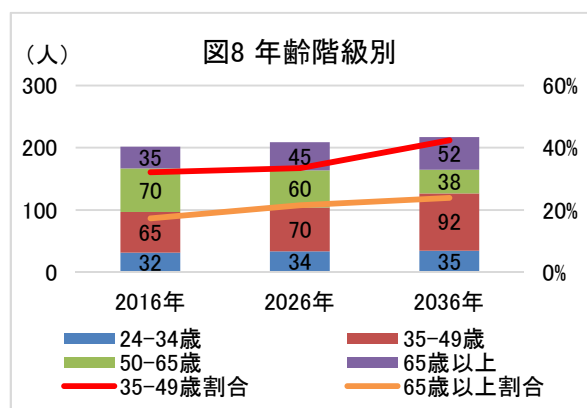
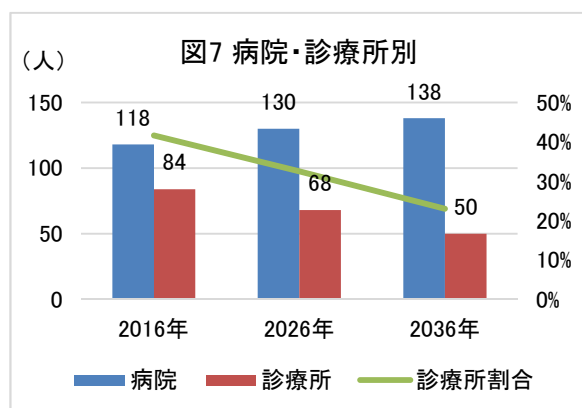
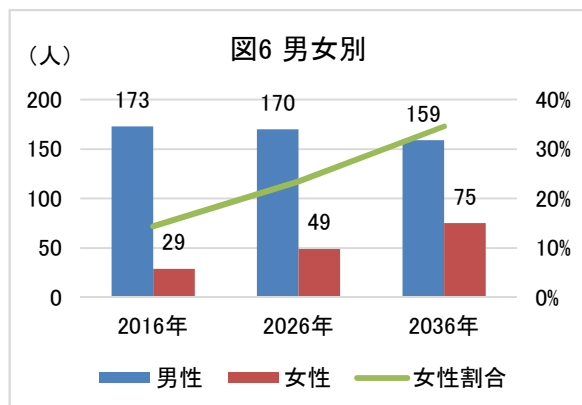
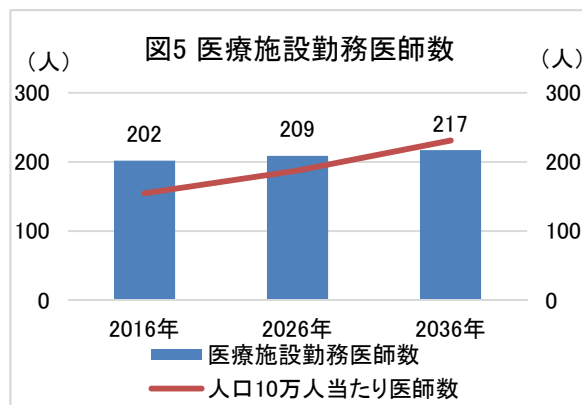
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて14人(-8%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に46人(159%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は35%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて20人(17%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に34人(-40%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は27人(42%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて17人(49%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年24%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



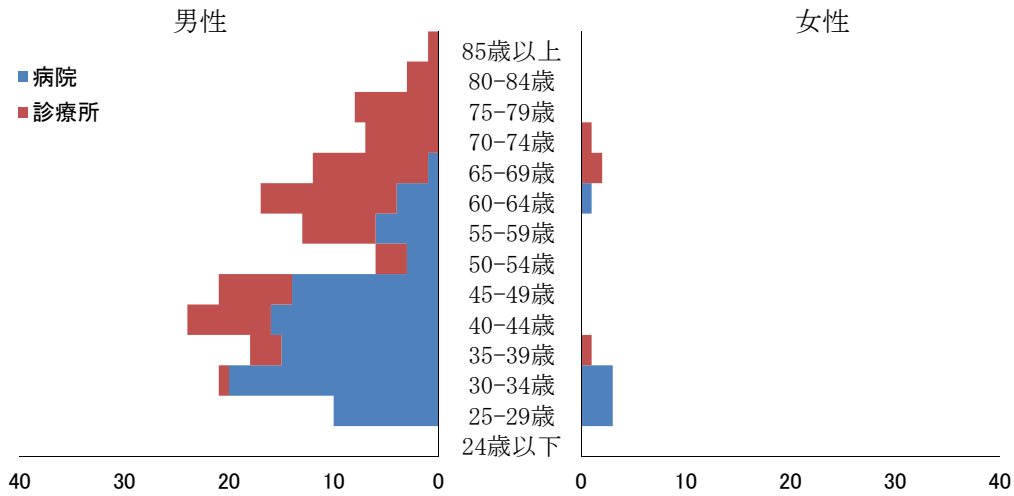
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大仙・仙北医療圏

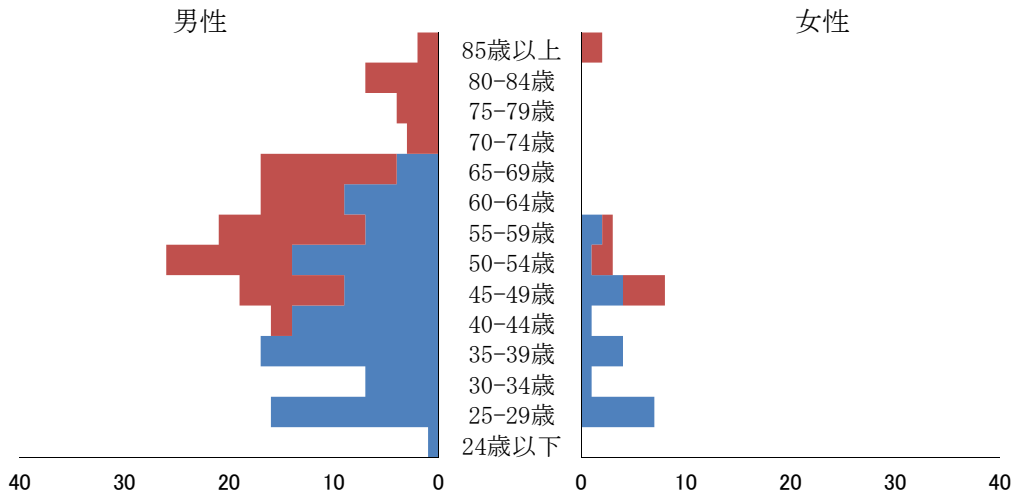
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

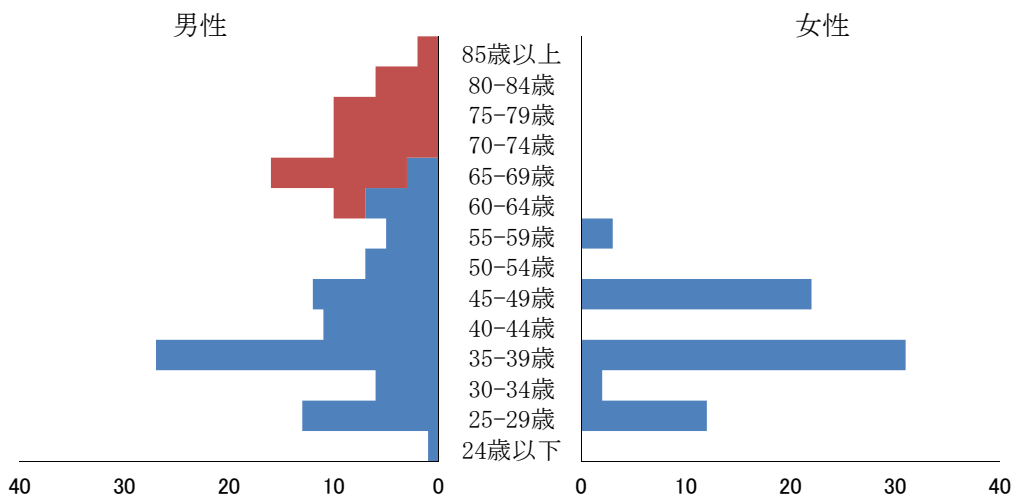
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

大仙・仙北医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	130,585	111,415	93,813	-36,772	-28%	-19,170	-15%	-17,602	-16%	
医療施設勤務医師数	202	209	217	15	7%	7	3%	8	4%	
人口10万対	154.7	187.6	231.3	76.6	50%	32.9	21%	43.7	23%	
男性医師数	173	170	159	-14	-8%	-3	-2%	-11	-6%	
人口10万対	132.5	152.6	169.5	37.0	28%	20.1	15%	16.9	11%	
女性医師数	29	49	75	46	159%	20	69%	26	53%	
人口10万対	22.2	44.0	79.9	57.7	260%	21.8	98%	36.0	82%	
病院勤務医師数	118	130	138	20	17%	12	10%	8	6%	
人口10万対	90.4	116.7	147.1	56.7	63%	26.3	29%	30.4	26%	
診療所勤務医師数	84	68	50	-34	-40%	-16	-19%	-18	-26%	
人口10万対	64.3	61.0	53.3	-11.0	-17%	-3.3	-5%	-7.7	-13%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	32	34	35	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	65	70	92	27	42%	5	8%	22	31%
	50-64歳	70	60	38	-32	-46%	-10	-14%	-22	-37%
	65歳以上	35	45	52	17	49%	10	29%	7	16%
	75歳以上(再掲)	15	16	21	6	40%	1	7%	5	31%
男性	24-34歳	24	25	20	-4	-17%	1	4%	-5	-20%
	35-49歳	52	52	61	9	17%	0	0%	9	17%
	50-64歳	64	52	36	-28	-44%	-12	-19%	-16	-31%
	65歳以上	33	41	42	9	27%	8	24%	1	2%
	75歳以上(再掲)	13	14	17	4	31%	1	8%	3	21%
女性	24-34歳	8	9	14	6	75%	1	13%	5	56%
	35-49歳	13	32	59	46	354%	19	146%	27	84%
	50-64歳	6	6	2	-4	-67%	0	0%	-4	-67%
	65歳以上	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	2	2	0	-2	-100%	0	0%	-2	-100%
病院	24-34歳	32	34	35	3	9%	2	6%	1	3%
	35-49歳	49	62	77	28	57%	13	27%	15	24%
	50-64歳	33	29	22	-11	-33%	-4	-12%	-7	-24%
	65歳以上	4	5	4	0	0%	1	25%	-1	-20%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	16	0	0	-16	-100%	-16	-100%	0	
	50-64歳	37	29	3	-34	-92%	-8	-22%	-26	-90%
	65歳以上	31	39	47	16	52%	8	26%	8	21%
	75歳以上(再掲)	15	15	21	6	40%	0	0%	6	40%
	85歳以上(再掲)	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

横手医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,403人(-18%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は25人(16%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は202人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は41%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

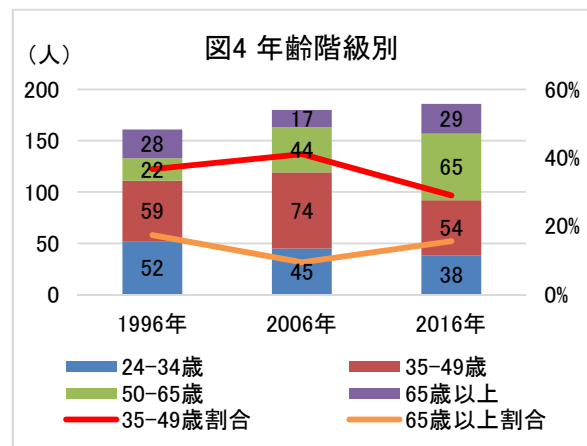
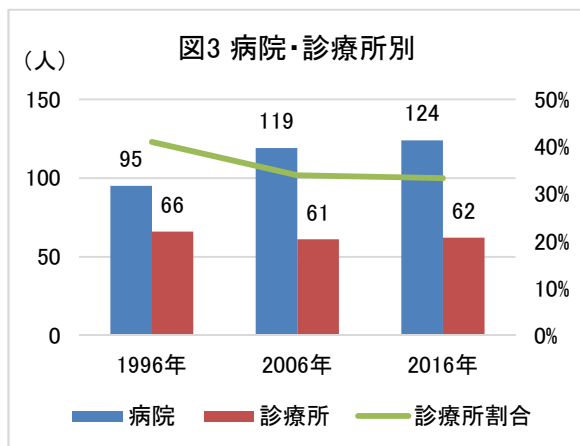
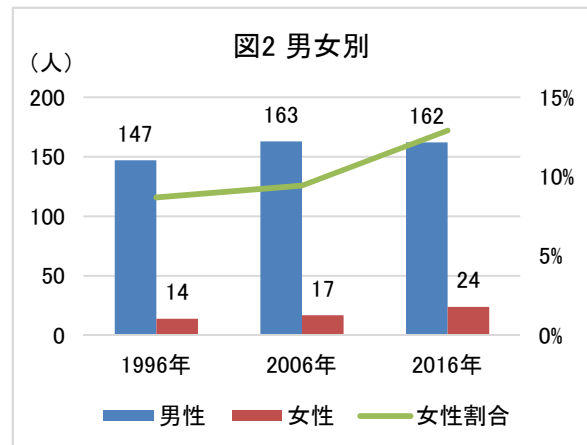
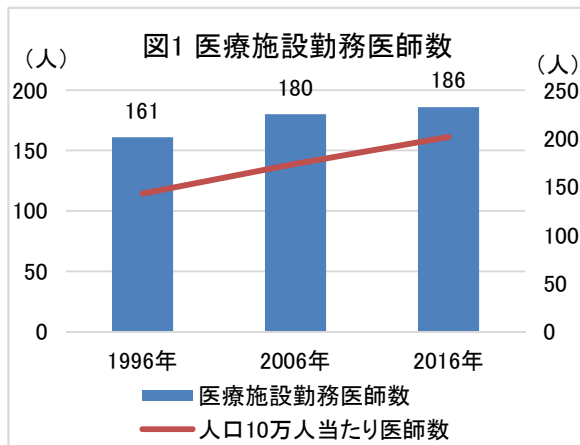
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて15人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に10人(71%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて29人(31%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(-6%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は33%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は5人(-8%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(4%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年17%、2016年16%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

横手医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	112,600	103,652	92,197	-20,403	-18%	-8,948	-8%	-11,455	-11%	
総医師数	170	186	192	22	13%	16	9%	6	3%	
人口10万対	151.0	179.4	208.2	57.3	38%	28.5	19%	28.8	16%	
医療施設勤務医師数	161	180	186	25	16%	19	12%	6	3%	
人口10万対	143.0	173.7	201.7	58.8	41%	30.7	21%	28.1	16%	
男性医師数	147	163	162	15	10%	16	11%	-1	-1%	
人口10万対	130.6	157.3	175.7	45.2	35%	26.7	20%	18.5	12%	
女性医師数	14	17	24	10	71%	3	21%	7	41%	
人口10万対	12.4	16.4	26.0	13.6	109%	4.0	32%	9.6	59%	
病院勤務医師数	95	119	124	29	31%	24	25%	5	4%	
人口10万対	84.4	114.8	134.5	50.1	59%	30.4	36%	19.7	17%	
診療所勤務医師数	66	61	62	-4	-6%	-5	-8%	1	2%	
人口10万対	58.6	58.9	67.2	8.6	15%	0.2	0%	8.4	14%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.0	45.6	48.9	2.9	6%	-0.4	-1%	3.3	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	52	45	38	-14	-27%	-7	-13%	-7	-16%
	35-49歳	59	74	54	-5	-8%	15	25%	-20	-27%
	50-64歳	22	44	65	43	195%	22	100%	21	48%
	65歳以上	28	17	29	1	4%	-11	-39%	12	71%
	75歳以上(再掲)	13	7	6	-7	-54%	-6	-46%	-1	-14%
男性	24-34歳	43	37	28	-15	-35%	-6	-14%	-9	-24%
	35-49歳	57	67	48	-9	-16%	10	18%	-19	-28%
	50-64歳	20	44	59	39	195%	24	120%	15	34%
	65歳以上	27	15	27	0	0%	-12	-44%	12	80%
	75歳以上(再掲)	13	7	4	-9	-69%	-6	-46%	-3	-43%
女性	24-34歳	9	8	10	1	11%	-1	-11%	2	25%
	35-49歳	2	7	6	4	200%	5	250%	-1	-14%
	50-64歳	2	0	6	4	200%	-2	-100%	6	
	65歳以上	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	2	2		0		2	
病院	24-34歳	50	45	38	-12	-24%	-5	-10%	-7	-16%
	35-49歳	38	58	47	9	24%	20	53%	-11	-19%
	50-64歳	5	15	33	28	560%	10	200%	18	120%
	65歳以上	2	1	6	4	200%	-1	-50%	5	500%
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
診療所	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	21	16	7	-14	-67%	-5	-24%	-9	-56%
	50-64歳	17	29	32	15	88%	12	71%	3	10%
	65歳以上	26	16	23	-3	-12%	-10	-38%	7	44%
	75歳以上(再掲)	11	7	6	-5	-45%	-4	-36%	-1	-14%
	85歳以上(再掲)	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	

横手医療圏

＜医師数の推移＞

横手医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、小児外科、臨床研修医であり、少ない診療科は、小児科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、外科(総数)、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	161	143.0	45	180	173.7	46	186	201.7	46	25	16%	58.8	41%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	75	66.6	47	70	67.5	46	74	80.3	47	-1	-1%	13.7	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	8.0	43	8	7.7	41	8	8.7	41	-1	-11%	0.7	9%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	9	8.0	50	9	8.7	48	9	9.8	45	0	0%	1.8	22%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	14	12.4	41	19	18.3	50	23	24.9	58	9	64%	12.5	101%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	1.1	57	1		1.1	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	1.8	51	2	1.9	49	2	2.2	48	0	0%	0.4	22%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	3.6	46	3	2.9	41	3	3.3	40	-1	-25%	-0.3	-8%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	8.9	41	13	12.5	45	13	14.1	45	3	30%	5.2	59%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	1.8	56	3	2.9	60	2	2.2	51	0	0%	0.4	22%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	5	4.4	47	4	3.9	43	2	2.2	36	-3	-60%	-2.3	-51%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	5	4.4	41	6	5.8	41	7	7.6	43	2	40%	3.2	71%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	5.3	45	3	2.9	37	5	5.4	44	-1	-17%	0.1	2%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	3.6	48	6	5.8	54	6	6.5	54	2	50%	3.0	83%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	8.0	46	8	7.7	46	8	8.7	46	-1	-11%	0.7	9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	1	1.1	44	1		1.1	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.8	45	2	1.9	44	1	1.1	39	-1	-50%	-0.7	-39%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	3	2.7	46	4	3.9	47	1	1.1	36	-2	-67%	-1.6	-59%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0		0.0	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				16	15.4	55	17	18.4	56	17	6%	3.0	19%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.8	44	4	3.9	47	3	3.3	43	1	50%	1.5	83%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

横手医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は23,193人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は5人(-3%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は262人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

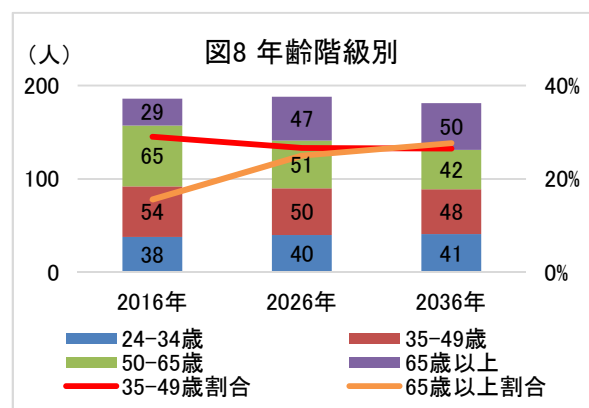
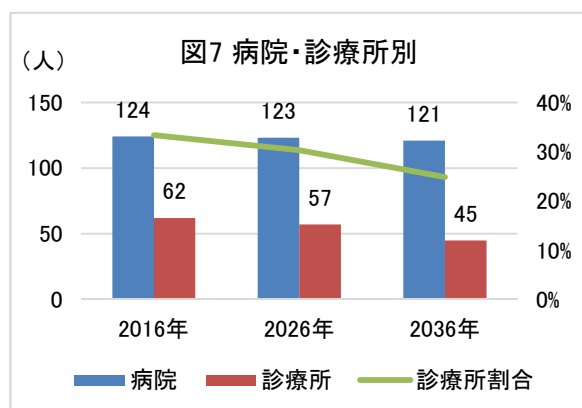
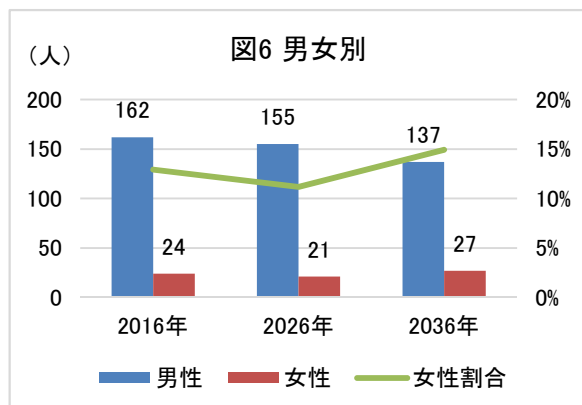
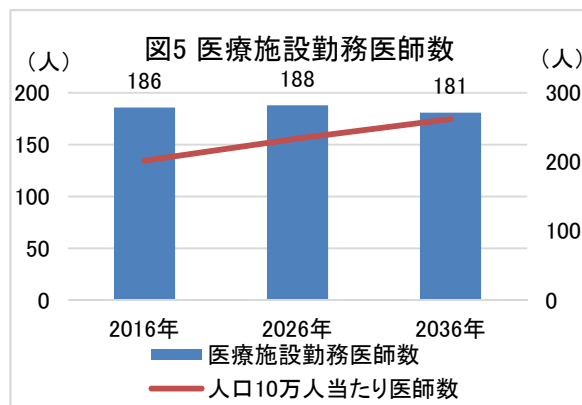
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて25人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(13%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は15%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-2%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に17人(-27%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は25%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(-11%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて21人(72%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



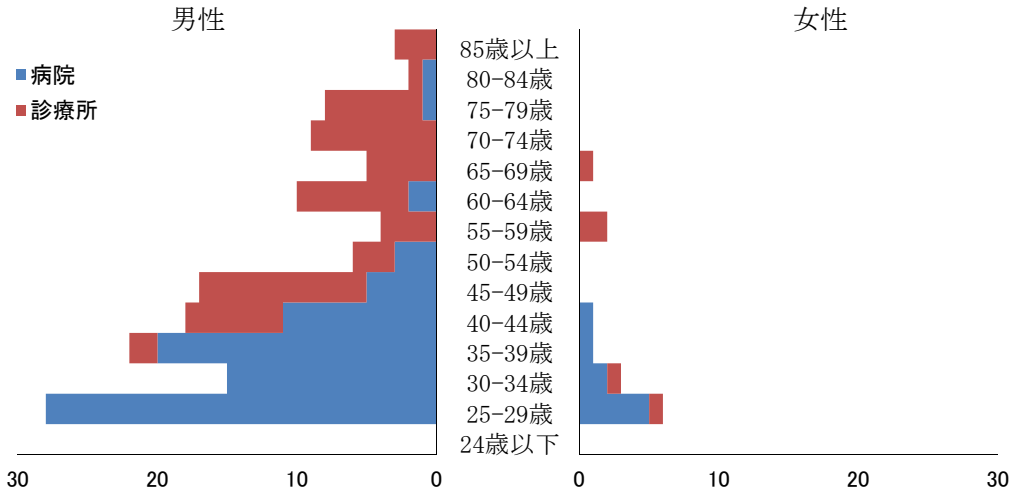
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

横手医療圏

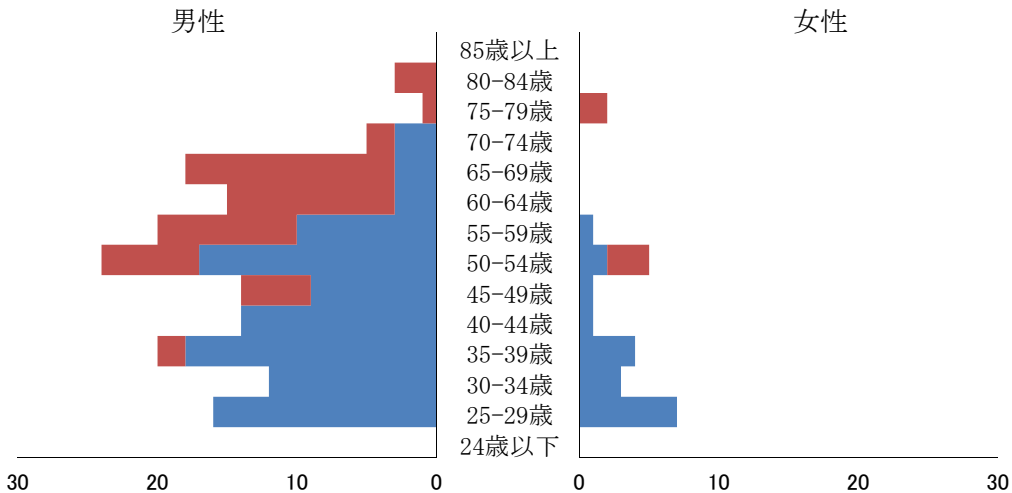
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

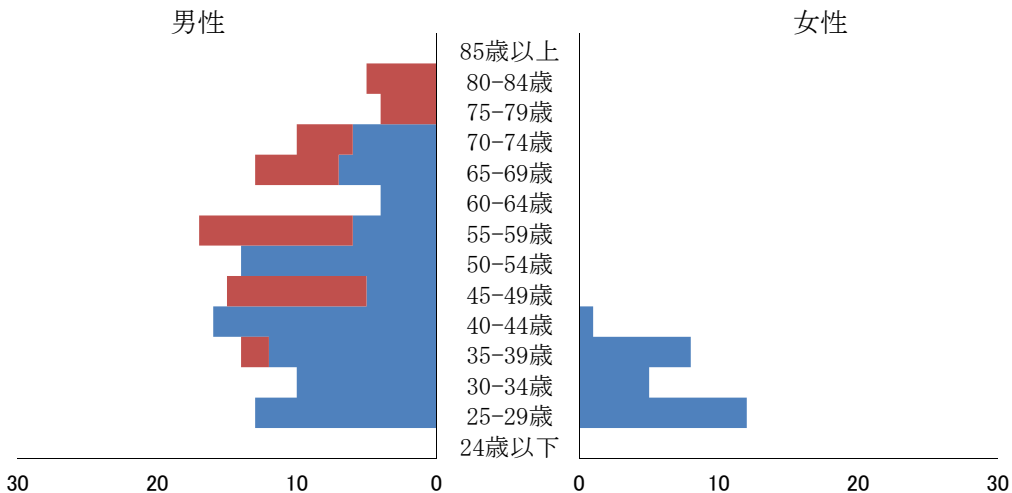
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

横手医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	92,197	80,422	69,004	-23,193	-25%	-11,775	-13%	-11,418	-14%	
医療施設勤務医師数	186	188	181	-5	-3%	2	1%	-7	-4%	
人口10万対	201.7	233.8	262.3	60.6	30%	32.0	16%	28.5	12%	
男性医師数	162	155	137	-25	-15%	-7	-4%	-18	-12%	
人口10万対	175.7	192.7	198.5	22.8	13%	17.0	10%	5.8	3%	
女性医師数	24	21	27	3	13%	-3	-13%	6	29%	
人口10万対	26.0	26.1	39.1	13.1	50%	0.1	0%	13.0	50%	
病院勤務医師数	124	123	121	-3	-2%	-1	-1%	-2	-2%	
人口10万対	134.5	152.9	175.4	40.9	30%	18.4	14%	22.4	15%	
診療所勤務医師数	62	57	45	-17	-27%	-5	-8%	-12	-21%	
人口10万対	67.2	70.9	65.2	-2.0	-3%	3.6	5%	-5.7	-8%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	38	40	41	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	54	50	48	-6	-11%	-4	-7%	-2	-4%
	50-64歳	65	51	42	-23	-35%	-14	-22%	-9	-18%
	65歳以上	29	47	50	21	72%	18	62%	3	6%
	75歳以上(再掲)	6	14	19	13	217%	8	133%	5	36%
男性	24-34歳	28	29	23	-5	-18%	1	4%	-6	-21%
	35-49歳	48	40	37	-11	-23%	-8	-17%	-3	-8%
	50-64歳	59	45	38	-21	-36%	-14	-24%	-7	-16%
	65歳以上	27	41	39	12	44%	14	52%	-2	-5%
	75歳以上(再掲)	4	9	13	9	225%	5	125%	4	44%
女性	24-34歳	10	11	17	7	70%	1	10%	6	55%
	35-49歳	6	8	9	3	50%	2	33%	1	13%
	50-64歳	6	2	1	-5	-83%	-4	-67%	-1	-50%
	65歳以上	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	38	40	41	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	47	43	41	-6	-13%	-4	-9%	-2	-5%
	50-64歳	33	26	25	-8	-24%	-7	-21%	-1	-4%
	65歳以上	6	14	14	8	133%	8	133%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	7	12	12	5	71%	5	71%	0	0%
	50-64歳	32	17	11	-21	-66%	-15	-47%	-6	-35%
	65歳以上	23	28	22	-1	-4%	5	22%	-6	-21%
	75歳以上(再掲)	6	11	11	5	83%	5	83%	0	0%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

湯沢・雄勝医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,502人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は7人(-8%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は122人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

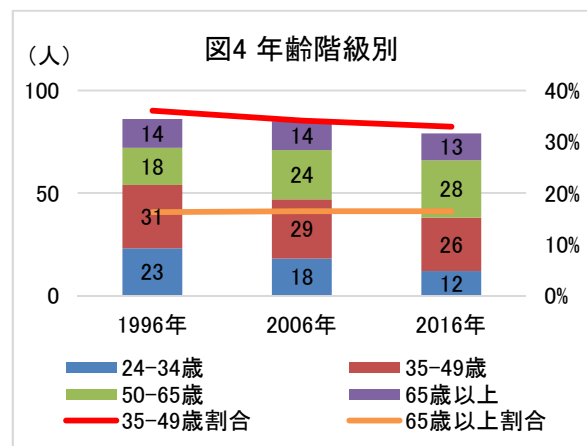
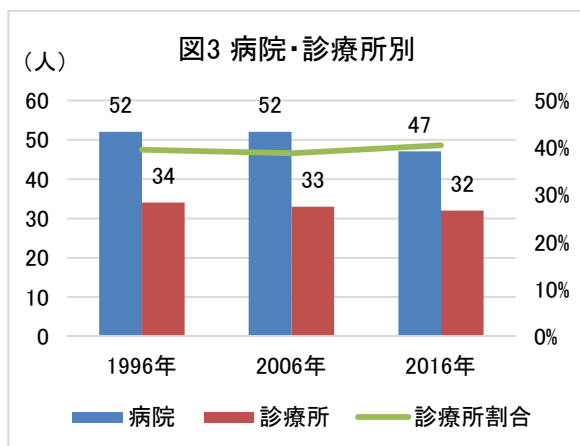
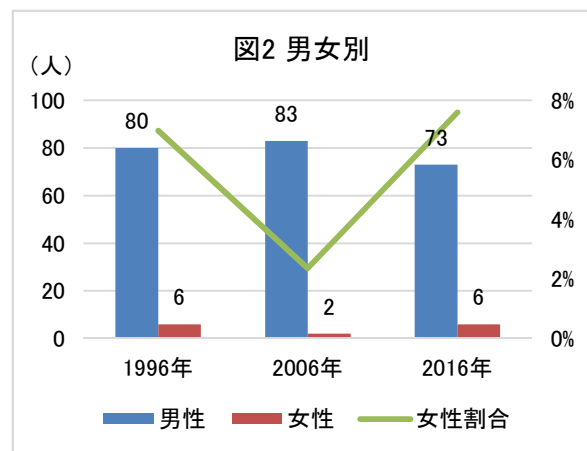
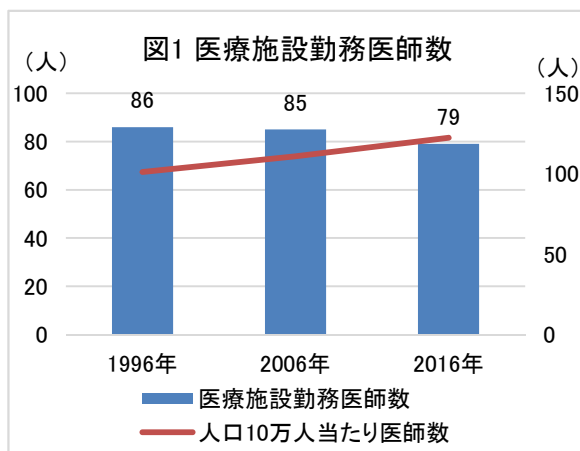
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて7人(-9%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて5人(-10%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(-6%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は5人(-16%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年16%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

湯沢・雄勝医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	85,044	76,737	64,542	-20,502	-24%	-8,307	-10%	-12,195	-16%	
総医師数	88	88	86	-2	-2%	0	0%	-2	-2%	
人口10万対	103.5	114.7	133.2	29.8	29%	11.2	11%	18.6	16%	
医療施設勤務医師数	86	85	79	-7	-8%	-1	-1%	-6	-7%	
人口10万対	101.1	110.8	122.4	21.3	21%	9.6	10%	11.6	11%	
男性医師数	80	83	73	-7	-9%	3	4%	-10	-12%	
人口10万対	94.1	108.2	113.1	19.0	20%	14.1	15%	4.9	5%	
女性医師数	6	2	6	0	0%	-4	-67%	4	200%	
人口10万対	7.1	2.6	9.3	2.2	32%	-4.4	-63%	6.7	257%	
病院勤務医師数	52	52	47	-5	-10%	0	0%	-5	-10%	
人口10万対	61.1	67.8	72.8	11.7	19%	6.6	11%	5.1	7%	
診療所勤務医師数	34	33	32	-2	-6%	-1	-3%	-1	-3%	
人口10万対	40.0	43.0	49.6	9.6	24%	3.0	8%	6.6	15%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.1	49.1	51.1	4.0	9%	2.0	4%	2.0	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	23	18	12	-11	-48%	-5	-22%	-6	-33%
	35-49歳	31	29	26	-5	-16%	-2	-6%	-3	-10%
	50-64歳	18	24	28	10	56%	6	33%	4	17%
	65歳以上	14	14	13	-1	-7%	0	0%	-1	-7%
	75歳以上(再掲)	3	7	3	0	0%	4	133%	-4	-57%
男性	24-34歳	20	17	11	-9	-45%	-3	-15%	-6	-35%
	35-49歳	31	29	22	-9	-29%	-2	-6%	-7	-24%
	50-64歳	18	23	28	10	56%	5	28%	5	22%
	65歳以上	11	14	12	1	9%	3	27%	-2	-14%
	75歳以上(再掲)	2	7	3	1	50%	5	250%	-4	-57%
女性	24-34歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	35-49歳	0	0	4	4		0		4	
	50-64歳	0	1	0	0		1		-1	-100%
	65歳以上	3	0	1	-2	-67%	-3	-100%	1	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	23	18	12	-11	-48%	-5	-22%	-6	-33%
	35-49歳	18	20	19	1	6%	2	11%	-1	-5%
	50-64歳	6	7	12	6	100%	1	17%	5	71%
	65歳以上	5	7	4	-1	-20%	2	40%	-3	-43%
	75歳以上(再掲)	1	4	0	-1	-100%	3	300%	-4	-100%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	13	9	7	-6	-46%	-4	-31%	-2	-22%
	50-64歳	12	17	16	4	33%	5	42%	-1	-6%
	65歳以上	9	7	9	0	0%	-2	-22%	2	29%
	75歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%
	85歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	

湯沢・雄勝医療圏

＜医師数の推移＞

湯沢・雄勝医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	86	101.1	40	85	110.8	38	79	122.4	37	-7	-8%	21.3	21%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	35	41.2	40	36	46.9	39	29	44.9	36	-6	-17%	3.8	9%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	7.1	41	4	5.2	36	4	6.2	37	-2	-33%	-0.9	-12%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	3.5	39	4	5.2	40	2	3.1	33	-1	-33%	-0.4	-12%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	13	15.3	44	8	10.4	39	10	15.5	45	-3	-23%	0.2	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.5	46	2	2.6	40	2	3.1	40	-1	-33%	-0.4	-12%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	11.8	47	9	11.7	44	8	12.4	42	-2	-20%	0.6	5%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	0	0.0	31	2	3.1	39	2	2	3.1	3.1
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	4.7	41	1	1.3	30	2	3.1	32	-2	-50%	-1.6	-34%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	3	3.5	40	3	3.9	40	4	6.2	46	1	33%	2.7	76%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	4.7	53	5	6.5	58	3	4.6	46	-1	-25%	-0.1	-1%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	4.7	38	3	3.9	36	4	6.2	41	0	0%	1.5	32%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.2	41	1	1.3	39	2	3.1	41	1	100%	1.9	164%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				6	7.8	46	5	7.7	44	5	-17%	-0.1	-1%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	3	3.9	48	2	3.1	43	2	2	3.1	3.1

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

湯沢・雄勝医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は20,353人(-32%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-14%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は154人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は26%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

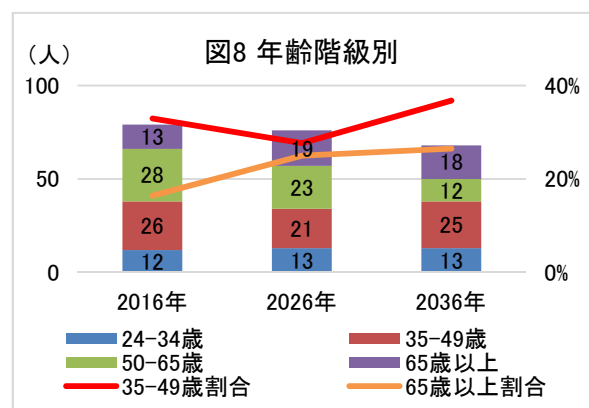
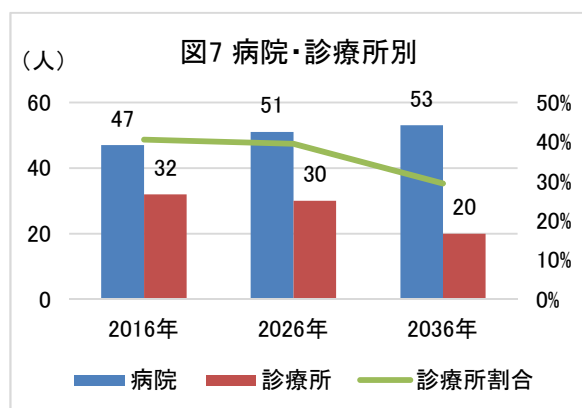
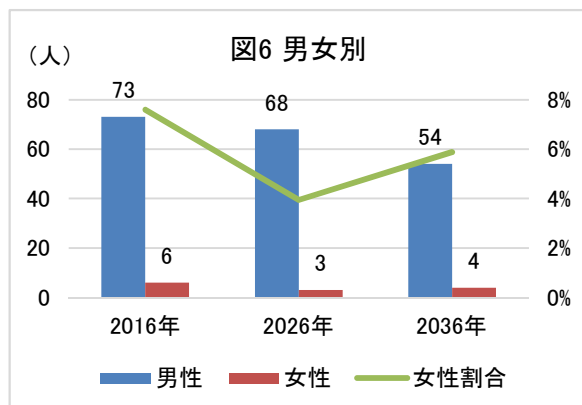
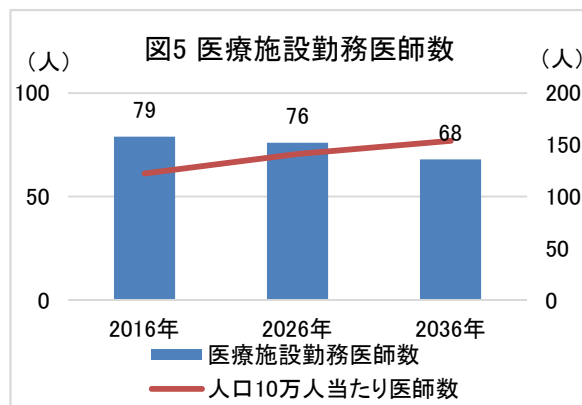
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて19人(-26%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は6%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(13%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に12人(-38%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は29%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて5人(38%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



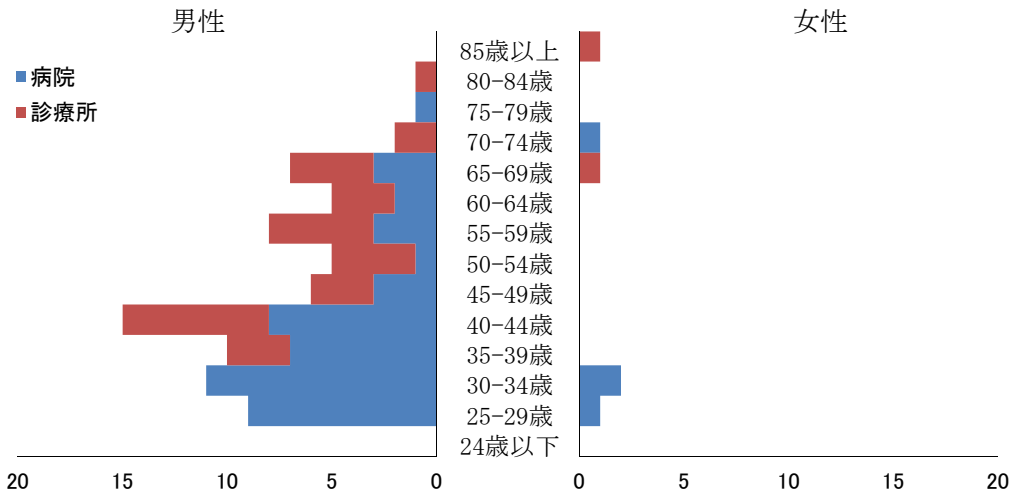
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

湯沢・雄勝医療圏

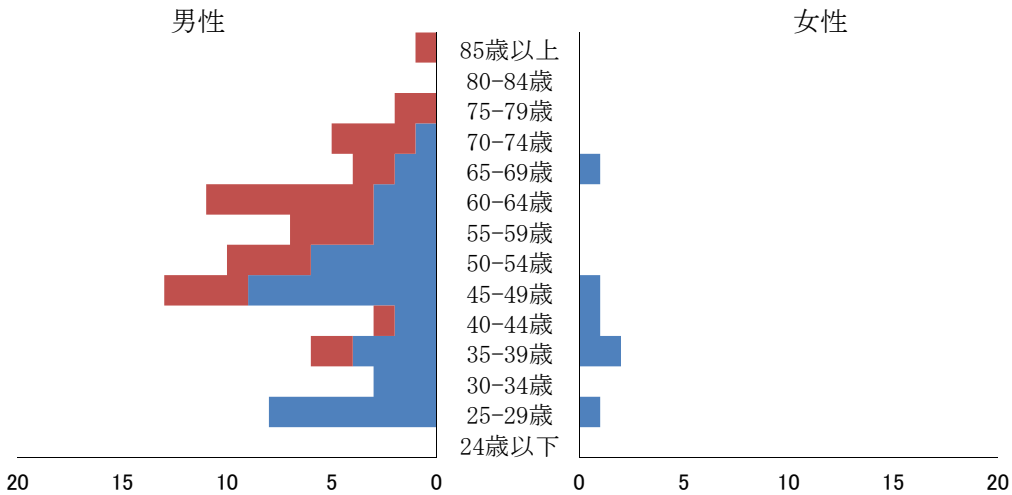
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

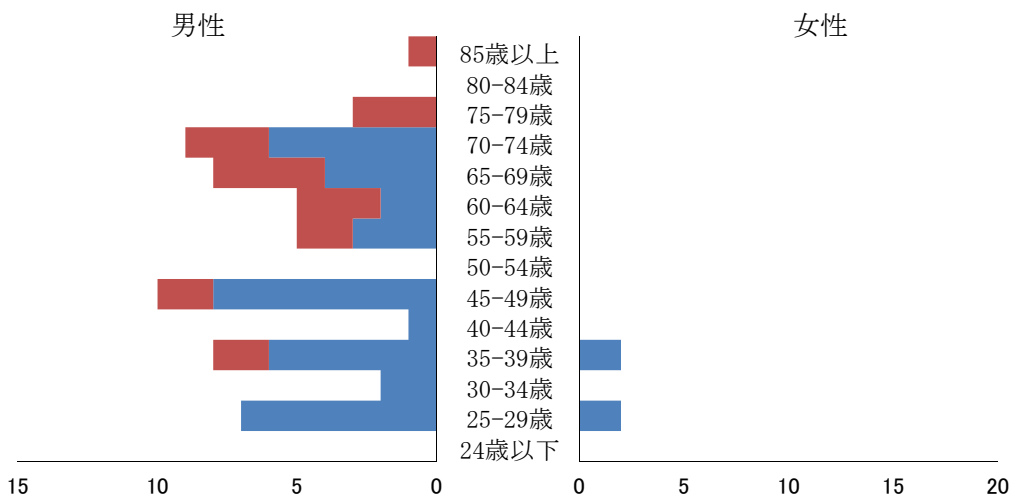
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

湯沢・雄勝医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	64,542	53,779	44,189	-20,353	-32%	-10,763	-17%	-9,590	-18%	
医療施設勤務医師数	79	76	68	-11	-14%	-3	-4%	-8	-11%	
人口10万対	122.4	141.3	153.9	31.5	26%	18.9	15%	12.6	9%	
男性医師数	73	68	54	-19	-26%	-5	-7%	-14	-21%	
人口10万対	113.1	126.4	122.2	9.1	8%	13.3	12%	-4.2	-3%	
女性医師数	6	3	4	-2	-33%	-3	-50%	1	33%	
人口10万対	9.3	5.6	9.1	-0.2	-3%	-3.7	-40%	3.5	62%	
病院勤務医師数	47	51	53	6	13%	4	9%	2	4%	
人口10万対	72.8	94.8	119.9	47.1	65%	22.0	30%	25.1	26%	
診療所勤務医師数	32	30	20	-12	-38%	-2	-6%	-10	-33%	
人口10万対	49.6	55.8	45.3	-4.3	-9%	6.2	13%	-10.5	-19%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
	35-49歳	26	21	25	-1	-4%	-5	-19%	4	19%
	50-64歳	28	23	12	-16	-57%	-5	-18%	-11	-48%
	65歳以上	13	19	18	5	38%	6	46%	-1	-5%
	75歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
男性	24-34歳	11	12	9	-2	-18%	1	9%	-3	-25%
	35-49歳	22	16	19	-3	-14%	-6	-27%	3	19%
	50-64歳	28	21	9	-19	-68%	-7	-25%	-12	-57%
	65歳以上	12	19	17	5	42%	7	58%	-2	-11%
	75歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	4	2	2	-2	-50%	-2	-50%	0	0%
	50-64歳	0	0	0	0		0		0	
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	12	13	13	1	8%	1	8%	0	0%
	35-49歳	19	19	22	3	16%	0	0%	3	16%
	50-64歳	12	13	8	-4	-33%	1	8%	-5	-38%
	65歳以上	4	6	10	6	150%	2	50%	4	67%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	7	4	4	-3	-43%	-3	-43%	0	0%
	50-64歳	16	12	5	-11	-69%	-4	-25%	-7	-58%
	65歳以上	9	14	11	2	22%	5	56%	-3	-21%
	75歳以上(再掲)	3	3	4	1	33%	0	0%	1	33%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)